

2024年6月19日

各位

一般社団法人 日本建築学会九州支部
支部長 趙 世晨

2025年度日本建築学会大会（九州）委託業者選定に関するご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、2025年度日本建築学会大会（九州）の運営に際し、下記により委託業者の選考を行いますので選考に参加される各位におかれましては、ご準備くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 大会概要

名 称：2025年度日本建築学会大会（九州）

会 期：2025年9月9日（火）～12日（金） ※9日はオンラインを主とする。

主会場：九州大学伊都キャンパス（福岡県福岡市西区元岡744）

2. 説明会および施設見学会

日 時：2024年7月12日（金）13:00～15:00

場 所：九州大学伊都キャンパスイースト1号館3階E-A-339会議室（資料2の84番の建物）

申込み：2024年7月10日（水）までにお名前（代表者の方）、ご所属、参加人数を下記問合せ先までメールにてお知らせください。

3. 業務提案書および予算見積書の提出

以下の資料を参照の上、業務提案書および予算見積書のPDFファイル（フォーマット自由）を下記問合せ先までメールにてお送りください。 **2024年8月19日（月）正午必着**

【資料1】2025年度日本建築学会大会（九州）の業務提案書および予算見積書の作成・提出要領

【資料2】主会場（九州大学伊都キャンパス）のキャンパスマップ

【資料3】2025年度大会使用教室数（見込み）

【資料4】九州大学伊都キャンパス教室一覧

【資料5】2022年度日本建築学会大会（北海道）および2023年度日本建築学会大会（近畿）の建築雑誌記事

※その他の資料（各教室の設備一覧、2024年度大会（関東）の建築雑誌記事など）については説明会のときに配布します。

4. 業者提案書および予算見積書に基づくプレゼンテーション

日 時：2024年8月26日（月）13:00～15:00

場 所：オンライン（Zoom を利用予定）

プレゼンテーション時間：1社あたり30分程度（10分程度の質疑応答を含む）

※詳細な時間と接続 URL は後日、ご連絡いたします。

5. その他

- ・ 選定結果は9月上旬までに各社にお知らせします。
- ・ 大学施設への個別のお問合せはご遠慮ください。

6. 問合せ先

2025年度日本建築学会大会（九州）実行委員会

総務部会長 神野達夫 kanno@arch.kyushu-u.ac.jp

2025 年度日本建築学会大会（九州）の業務提案書および予算見積書の作成・提出要領

1. 大会の概要

名称：2025 年度日本建築学会大会（九州）

期間：2025 年 9 月 9 日（火）～12 日（金）

9 月 9 日（火）は研究集会等をオンラインにて開催

主会場：九州大学伊都キャンパス

参加者数：10,000～12,000 人（各日 5,000 人程度を予想）

主要行事：

(1) 開会式／閉会式

(2) 学術講演会

9 月 10 日（水）～12 日（金）に発表題数 6,500～7,000 題程度、60 室程度の会場にて平行で学術講演発表

(3) 研究集会

日本建築学会の各委員会等による 3.5 時間程度のシンポジウムの企画 40～50 企画、実会場 or オンライン開催、オンラインは 9 月 9 日（火）

(4) 記念行事

建築に興味のある一般市民、会員向けの大会記念講演会（1～2 つ）、会員向けの予約制ツアー見学会（2 コース程度）、一般市民および会員向けの現地集合の見学会（数カ所程度）等

(5) 懇親会

会場は学外、9 月 10 日（水）18:30～、立食、予定参加者 300 名、参加費別途徴収

(6) 各種表彰式

設計競技、技術部門設計競技、奨励賞、優秀卒業論文賞、優秀修士論文賞、作品選集、新人賞の表彰式等

(7) 建築作品展

学会賞、教育賞、作品選奨、設計競技、技術部門設計競技、優秀卒業論文、優秀修士論文、全国大学・高専卒業設計の図面やパネル、その他論文等の展示

(8) 関連行事

大会開催時に毎年行われる付随行事（ワークショップ、シンポジウム、フォーラム、テニス大会、ゴルフ大会など）※基本的に関係者が独自に準備するので、ご提案いただくものではありません。

※過去の大会プログラム等（資料 5）を参考にしてください。

2. 提案事項

下記の事項について、貴社のご提案の概要をまとめてご提出ください。

(1) 過去の実績（建築学会に限らず、概要や規模を明記）

(2) 大会の運営に関する支援範囲・体制について（託児施設、手話通訳などを含む）

(3) 参加者の宿泊施設の確保と斡旋について

(4) 参加者の会場への交通計画について（障がい者対応を含む）

(5) 記念行事の運営および懇親会の企画・運営について

(6) 会場内の設営について

- (7) スポンサーの獲得について
- (8) スタッフの体制およびアルバイトの管理について
- (9) 昼食計画（参加者：学内売店、食堂、弁当など、スタッフ：弁当）について
- (10) その他

3. 予算見積書

上記の提案内容に基づいて、下記の項目に分けた概要見積書を提出してください。なお、当方が計画しております下記の諸事項を考慮し、個々の項目について、印刷費、機材などのレンタル費、個々単価等の詳細がわかるようにご記入ください。

- (1) 企画制作関係費
 - ・ 作業説明マニュアルの制作・印刷費（モノクロ、A4、100 ページ程度、500 部）
 - ・ 大会参加票の制作・印刷費（13,000 枚、同数のケースを含む）
 - ・ スタッフ・学生用のビブスの制作費
 - ・ 大会テーマに関連付けたロゴのデザイン費
 - ・ 大会報告書（写真を含む）の制作費（データ納品）
- (2) 会場設営費
 - ・ 看板・サイン等の作成、設置・撤去費（タイトル立看板、受付誘導立看板、構内誘導立看板、会場案内立看板、受付会場立看板、会場表示、吊看板、伝言板、開閉会式会場前看板、建築作品展前看板、ポスター・展示パネル、展示用サインスタンド、学外での案内、会場周辺での案内など）
 - ・ 総合受付、託児所、看護施設などの設営・撤去費
 - ・ 雨天など、天候の急変に対する諸経費
 - ・ その他費用
- (3) 発表機材・備品関係費
 - ・ 受付のテント（4 張、机 8 本、椅子 20 脚程度）
 - ・ 会場案内用の機材レンタル費（机 8 本、椅子 16 脚程度）
 - ・ 発表会場における PC の切替器、PC ケーブル、電源ケーブル等の発表機材のレンタル費（PC プロジェクター、スクリーン、HDMI 端子は教室備え付けのものを使用可）
 - ・ 本部関係機材レンタル費（コピー機 1、直通電話 1、携帯電話 30、ファックス 1 など）
 - ・ 本部の給茶器・飲料・冷蔵庫・紙コップなど
- (4) 研究集会のオンライン配信
 - ・ ライセンス契約
 - ・ アカウント等設定費
 - ・ その他運営費
- (5) 広報関係費
 - ・ ホームページ作成・管理（期間：2025 年 4 月～9 月）
 - ・ ポスターの発送費（1,000 枚）
 - ・ ポスターのデザイン・印刷費（A2 判、4c、約 1,200 枚）
 - ・ 当日配布パンフレットのデザイン・印刷費（A3 判・両面、4c、約 5,000 枚）

- (6) 事前準備関係費
 - ・ 事前準備（会場検討、会場との交渉、大会委員会出席人件費）
- (7) 運営スタッフ関係費
 - ・ 当日の運営スタッフ（ディレクター、アルバイト管理、託児施設、看護師、運営関係者用の弁当、清掃、警備を含む）
- (8) 記念行事および表彰式、懇親会の開催費
 - ・ 記念行事の開催費（開閉会式、大会記念講演会（1～2つ）の開催費、学会コンペ等の展示に関する費用、各種表彰式の開催費、その他費用）
 - ・ 各種見学会の実施に関する開催費
 - ・ 懇親会の開催費
- (9) 委託手数料
- (10) その他、提案事項に対応した費用

4. 注意事項

- (1) 懇親会、大会記念講演会、公開シンポジウム、ツアーを除くイベントは全て九州大学伊都キャンパスで行います。
- (2) 九州大学伊都キャンパスの近郊は公共交通機関が脆弱です。本学のロケーションを鑑みて、参加者のストレスをできる限り少なくする輸送方法の提案をお願いします。
- (3) 宿泊者の人数は現時点で不明です。大会への参加者は近年 10,000 名となっています。なお、ここでいう参加者とは参加費を支払った者であり、学内に滞在する延べ人数は、これより多いと思われるかもしれません（こちらでは正確な数値を把握していません）。
- (4) 会場の壁等への直接の貼り紙は禁止します。大きな掲示をする場合は、自立型の立て看板等を使用してください。
- (5) 会場案内・プログラム案内等のアプリ、QR コードと連動したポータルサイト等などのペーパーレスを推進できるような提案も受け付けます。また、当日の受付が不要となる運営方法があればご提案ください。
- (6) 大会等の参加費（懇親会、見学ツアー等の有料行事への参加費も含む）はすべて事前支払いとし、現地での現金の授受は極力行わないこととします。
- (7) 資料の頒布は行いません（すべてオンライン販売）。
- (8) 場合によって、提案書等ご提出後に質疑応答を対面、オンライン、もしくはメールで行う場合があります。
- (9) 2015 年日本建築学会大会（九州）の全体予算に応じて、貴社がご提案する各事項・項目について後日調整させていただく場合があります。
- (10) 大学施設への個別のお問合せはご遠慮ください。

5. 提出資料

自由フォーマット・PDF ファイルにて提出

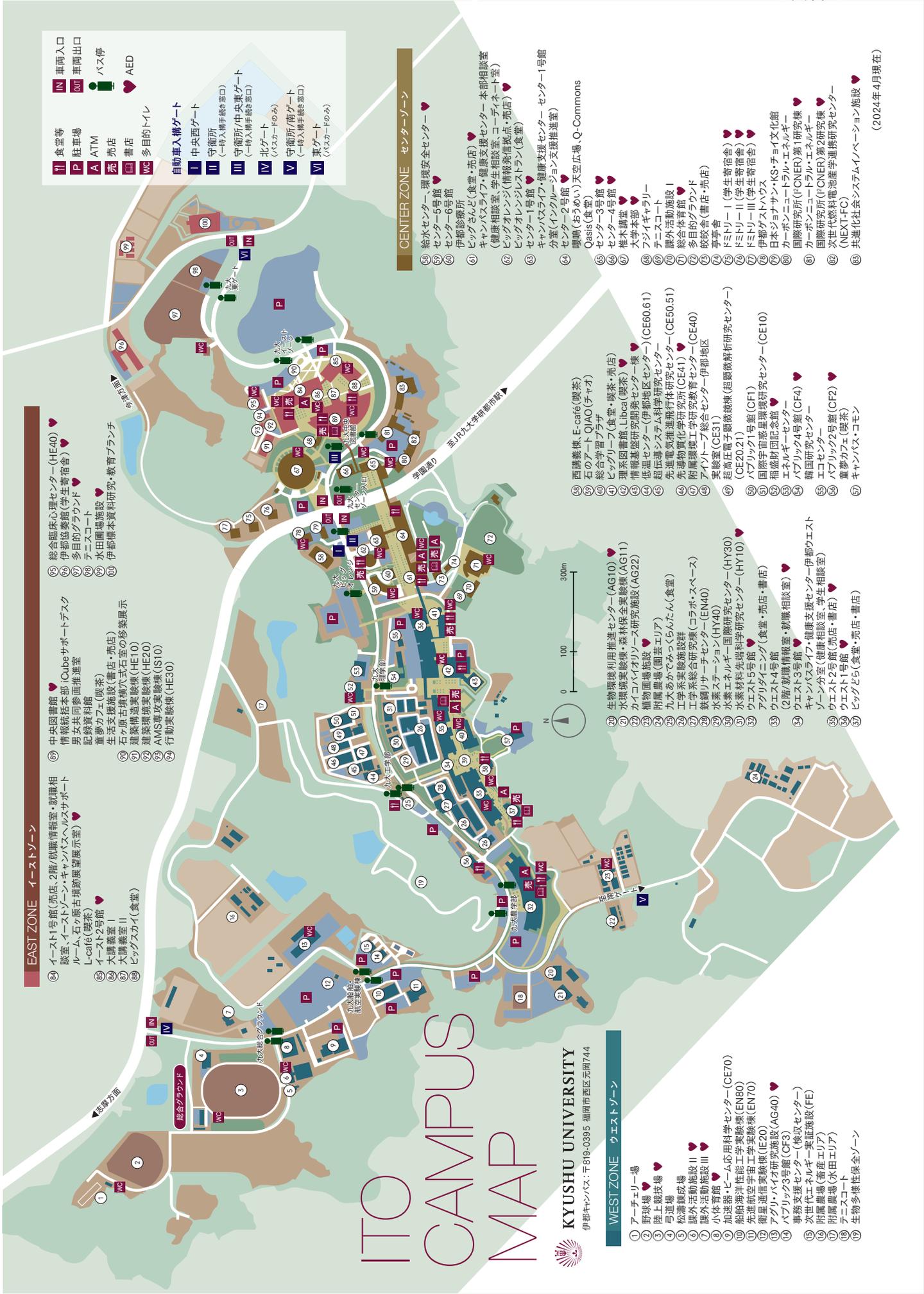
6. 提出期限

2024 年 8 月 19 日（月）正午必着

7. 提出先

2025 年度日本建築学会大会（九州）実行委員会

総務部会長 神野達夫 kanno@arch.kyushu-u.ac.jp



IN 車両入口 **OUT** 車両出口

P 駐車場 **A** ATM

売 売店 **書** 書店

WC 多目的トイレ

バス停 バス停 **AED** AED

自動入庫ゲート

I 中央西ゲート (一人入庫手続窓口)

II 守衛所

III 守衛所/中央東ゲート (一人入庫手続窓口)

IV 北ゲート (バスカードのみ)

V 守衛所/南ゲート (一人入庫手続窓口)

VI 車ゲート (バスカードのみ)

- CENTER ZONE センターゾーン**
- ⑤ 給水センター、環境安全センター
 - ⑥ センター5号館
 - ⑦ センター6号館
 - ⑧ 伊都診療所
 - ⑨ ビッグさんぽ(食費・売店)
 - ⑩ キャンパスライフ・健康支援センター 本部相談室 (健康相談室、学生相談室、コープネットワーク)
 - ⑪ ビッグオレンジ(情報発信拠点・売店)
 - ⑫ ビッグオレンジレストラン(食堂)
 - ⑬ センター1号館
 - ⑭ キャンパスライフ、健康支援センター センター1号館
 - ⑮ 分室(インクルージョン支援推進室)
 - ⑯ センター2号館
 - ⑰ 喫蘭(おうちめい)天空広場、Q-Commons
 - ⑱ Qasis(食堂)
 - ⑲ センター3号館
 - ⑳ センター4号館
 - ㉑ 椎木講堂
 - ㉒ 大学本部
 - ㉓ フジイギャラリー
 - ㉔ アニスコート
 - ㉕ 課外活動施設 I
 - ㉖ 総合体育館
 - ㉗ 多目的グラウンド
 - ㉘ 校政舎(書店・売店)
 - ㉙ 草草舎
 - ㉚ トミトリ I (学生寄宿舎)
 - ㉛ トミトリ II (学生寄宿舎)
 - ㉜ トミトリ III (学生寄宿舎)
 - ㉝ 伊都ゲストハウス
 - ㉞ 日本ジョナサン・KS・チャイ文化館
 - ㉟ カーニュエール・エネルギー
 - ㊱ 国際研究所(PCNER)第1研究棟
 - ㊲ カーニュエール・エネルギー
 - ㊳ 国際研究所(PCNER)第2研究棟
 - ㊴ 次世代燃料電池学連携研究センター (NEXT-FC)
 - ㊵ 共進化社会システムイノベーション・イノベーション施設

- ⑳ 西講義棟、E-cafe(喫茶)
- ㉑ 石のアーチ QJAO(チャオ)
- ㉒ 総合学習プラザ
- ㉓ ビッグリーフ(食費・喫茶・売店)
- ㉔ 理系図書 Libca(喫茶)
- ㉕ 情報基盤研究開発センター棟
- ㉖ 低溫センター(伊都地区センター)(CE60.61)
- ㉗ 超伝導システム科学研究センター(CE60.61)
- ㉘ 先端電気推進飛行体研究センター(CE50.51)
- ㉙ 先端物質化学研究所(CE41)
- ㉚ 附属環境工学研究センター(CE40)
- ㉛ アイノトープ総合センター伊都地区
- ㉜ 実験室(CE31)
- ㉝ 実高圧電子顕微鏡(超顕微鏡解析センター)(CE20.21)
- ㉞ パブリック1号館(CFI)
- ㉟ 国際宇宙環境研究センター(CE10)
- ㊱ 稲盛財団記念館
- ㊲ エネルギーセンター
- ㊳ パブリック4号館(CF4)
- ㊴ 韓国研究センター
- ㊵ エコセンター
- ㊶ パブリック2号館(CF2)
- ㊷ 重夢カフェ(喫茶)
- ㊸ キャンパス・コモン

- ㉑ 生物環境利用推進センター(AG10)
- ㉒ 水環境実験棟・森林保全実験棟(AG11)
- ㉓ カイコオリオンズ研究施設(AG22)
- ㉔ 植物園場施設
- ㉕ 附属農場(園芸エリア)
- ㉖ 九六あかみくらんたん(食堂)
- ㉗ 工学系実験施設群
- ㉘ 工学系総合研究棟(コラボ、スペース)
- ㉙ 鉄鋼リサーチセンター(EN40)
- ㉚ 水素ステーション(HY40)
- ㉛ 水素エネルギー国際研究センター(HY30)
- ㉜ 水素材料先端工学研究センター(HY10)
- ㉝ ウェスト5号館
- ㉞ ウェスト4号館
- ㉟ ウェスト3号館
- ㊱ ウェスト3号館・健康支援センター伊都ウエスト
- ㊲ ソーン分室(健康相談室、学生相談室)
- ㊳ ウェスト2号館(売店・書店)
- ㊴ ウェスト1号館
- ㊵ ビッグどら(食費・売店・書店)

- ㉑ 中央図書館
- ㉒ 情報統括本部(Cubeサポートデスク)
- ㉓ 伊都協賛会館(学生寄宿舎)
- ㉔ 多目的グラウンド
- ㉕ テニスコート
- ㉖ 水田圃場施設
- ㉗ 伊都醸本資料研究・教育プラザ
- ㉘ 総合グラウンド
- ㉙ 中央西ゲート
- ㉚ 守衛所
- ㉛ 守衛所/中央東ゲート
- ㉜ 北ゲート
- ㉝ 守衛所/南ゲート
- ㉞ 車ゲート
- ㉟ 給水センター
- ㊱ センター5号館
- ㊲ センター6号館
- ㊳ 伊都診療所
- ㊴ ビッグさんぽ
- ㊵ キャンパスライフ・健康支援センター
- ㊶ ビッグオレンジ
- ㊷ ビッグオレンジレストラン
- ㊸ センター1号館
- ㊹ キャンパスライフ・健康支援センター
- ㊺ 分室
- ㊻ センター2号館
- ㊼ 喫蘭
- ㊽ Qasis
- ㊾ センター3号館
- ㊿ センター4号館
- 1 アーチアリーナ
- 2 野球場
- 3 陸上競技場
- 4 弓道場
- 5 松濤鎮成場
- 6 課外活動施設 II
- 7 課外活動施設 III
- 8 小体育館
- 9 快速車・レールバス用科学センター(CE70)
- 10 船舶海洋性能工学実験棟(EN80)
- 11 先端航空宇宙工学実験棟(EN70)
- 12 衛星通信実験棟(IE20)
- 13 パブリック3号館(CF3)
- 14 パブリック3号館(CF3)
- 15 事務支援センター(検収センター)
- 16 附属農場(畜産エリア)
- 17 附属農場(水田エリア)
- 18 アニスコート
- 19 生物多様性保全ゾーン

- EAST ZONE イーストゾーン**
- ① イースト1号館(売店・2階/読書情報室・就職相談室、イーストゾーン・キャンパス・ヘルプサポートルーム、石ヶ原古墳跡展示(売店))
 - ② L-cafe(喫茶)
 - ③ イースト2号館
 - ④ 大講義室 I
 - ⑤ 大講義室 II
 - ⑥ ビッグスカイ(食堂)

- ⑦ 総合グラウンド
- ⑧ 中央西ゲート
- ⑨ 守衛所
- ⑩ 守衛所/中央東ゲート
- ⑪ 北ゲート
- ⑫ 守衛所/南ゲート
- ⑬ 車ゲート
- ⑭ 給水センター
- ⑮ センター5号館
- ⑯ センター6号館
- ⑰ 伊都診療所
- ⑱ ビッグさんぽ
- ⑲ キャンパスライフ・健康支援センター
- ⑳ ビッグオレンジ
- ㉑ ビッグオレンジレストラン
- ㉒ センター1号館
- ㉓ キャンパスライフ・健康支援センター
- ㉔ 分室
- ㉕ センター2号館
- ㉖ 喫蘭
- ㉗ Qasis
- ㉘ センター3号館
- ㉙ センター4号館
- ㉚ ウェスト3号館
- ㉛ ウェスト3号館・健康支援センター伊都ウエスト
- ㉜ ソーン分室(健康相談室、学生相談室)
- ㉝ ウェスト2号館(売店・書店)
- ㉞ ウェスト1号館
- ㉟ ビッグどら(食費・売店・書店)

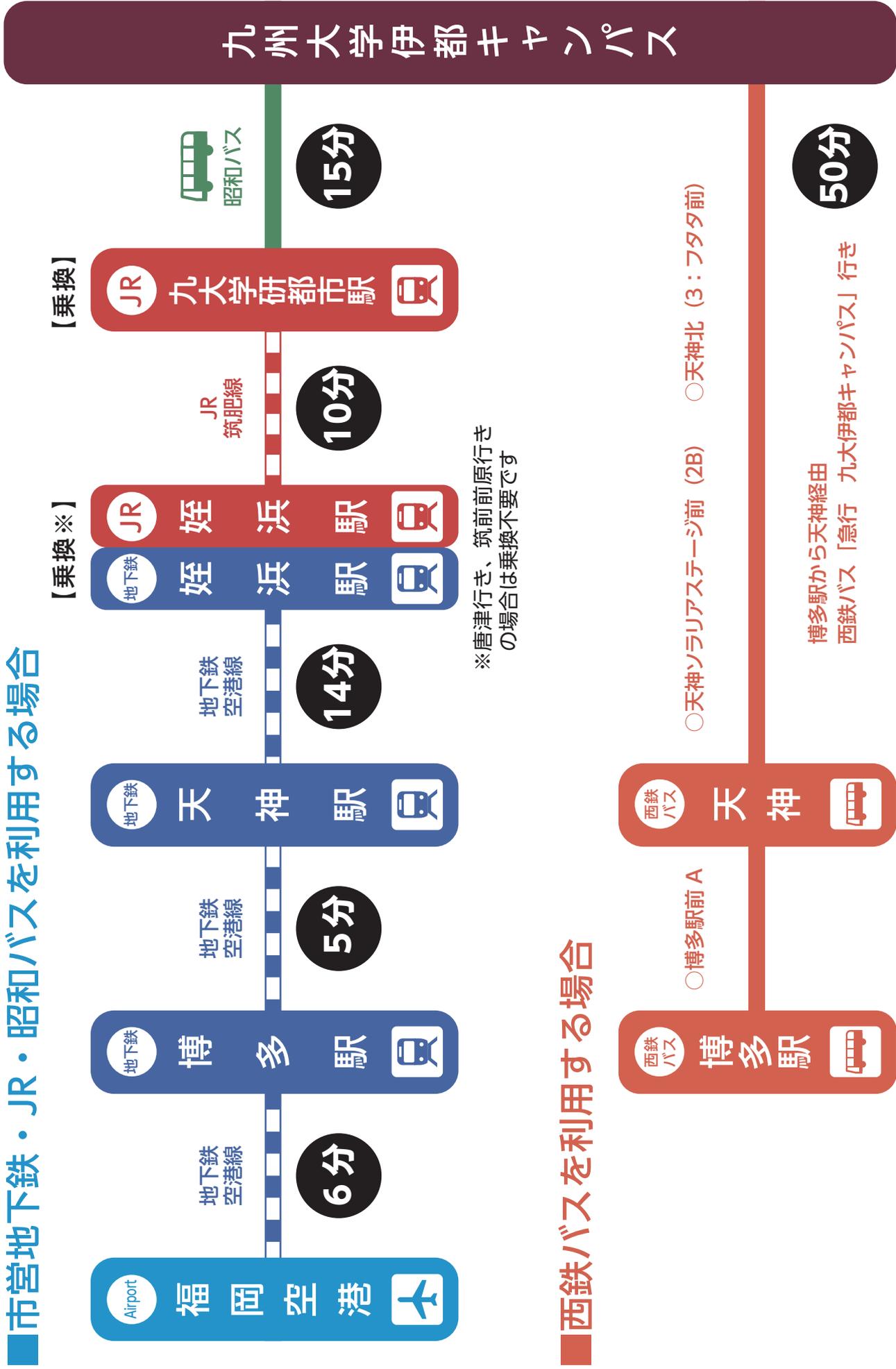
ITO CAMPUS MAP

KYUSHU UNIVERSITY
伊都キャンパス: 〒819-0395 福岡市西区元町744

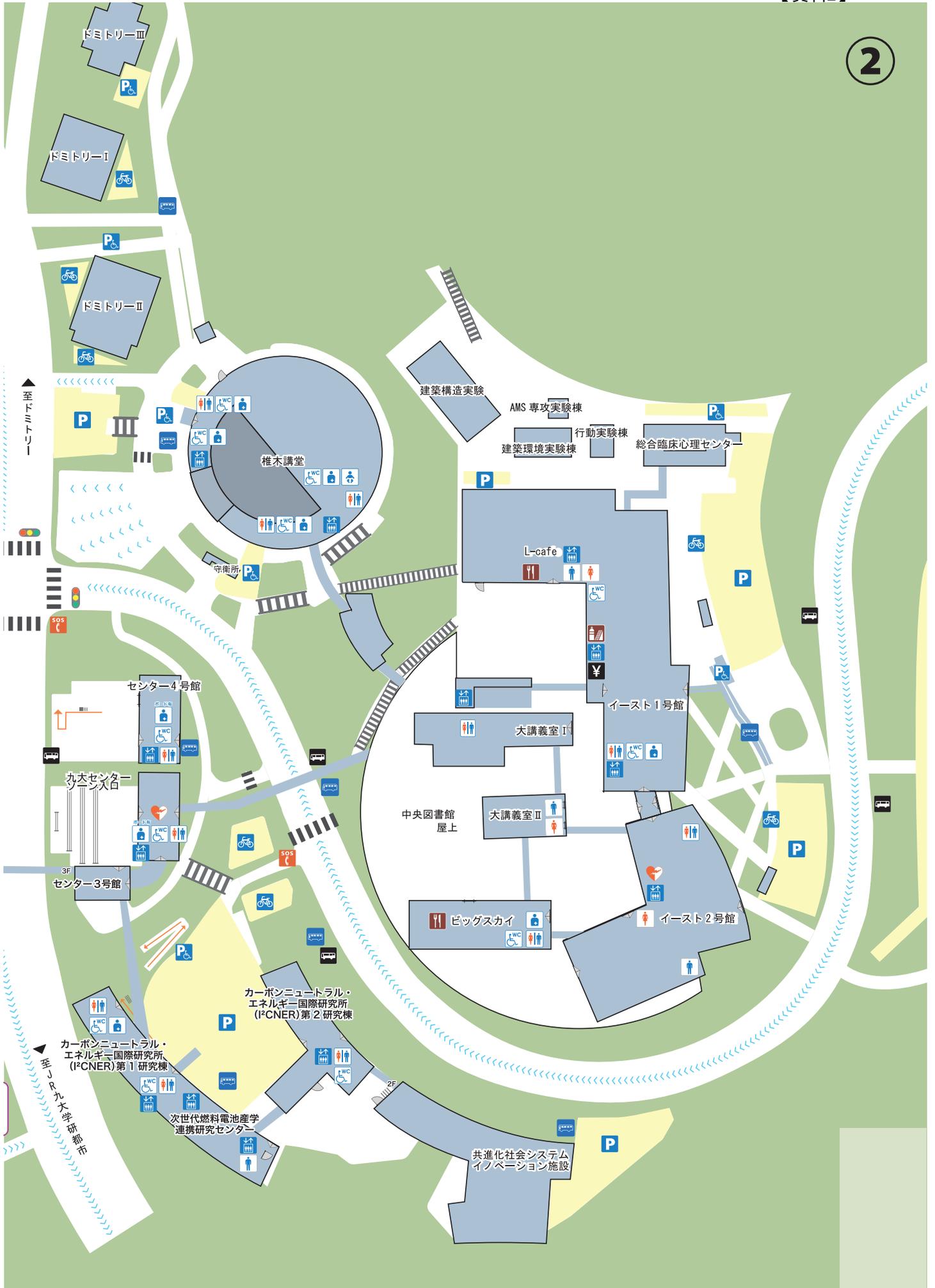
- WEST ZONE ウェストゾーン**
- 1 アーチアリーナ
 - 2 野球場
 - 3 陸上競技場
 - 4 弓道場
 - 5 松濤鎮成場
 - 6 課外活動施設 II
 - 7 課外活動施設 III
 - 8 小体育館
 - 9 快速車・レールバス用科学センター(CE70)
 - 10 船舶海洋性能工学実験棟(EN80)
 - 11 先端航空宇宙工学実験棟(EN70)
 - 12 衛星通信実験棟(IE20)
 - 13 パブリック3号館(CF3)
 - 14 パブリック3号館(CF3)
 - 15 事務支援センター(検収センター)
 - 16 附属農場(畜産エリア)
 - 17 附属農場(水田エリア)
 - 18 アニスコート
 - 19 生物多様性保全ゾーン

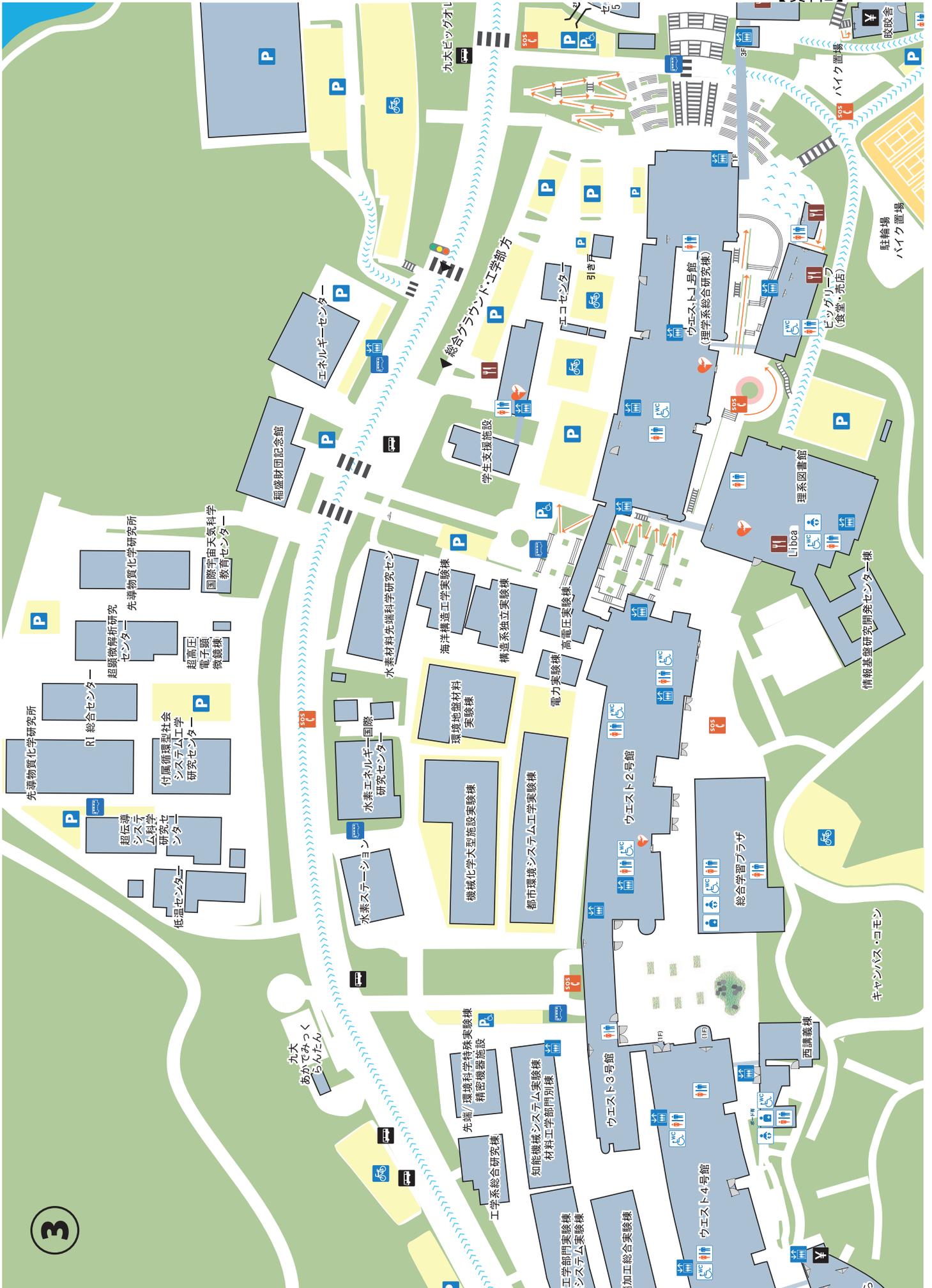
(2024年4月現在)

■市営地下鉄・JR・昭和バスを利用する場合



■西鉄バスを利用する場合





3

7

【資料2】

九大
あかてみつくらんたん

キャンパス・コモン

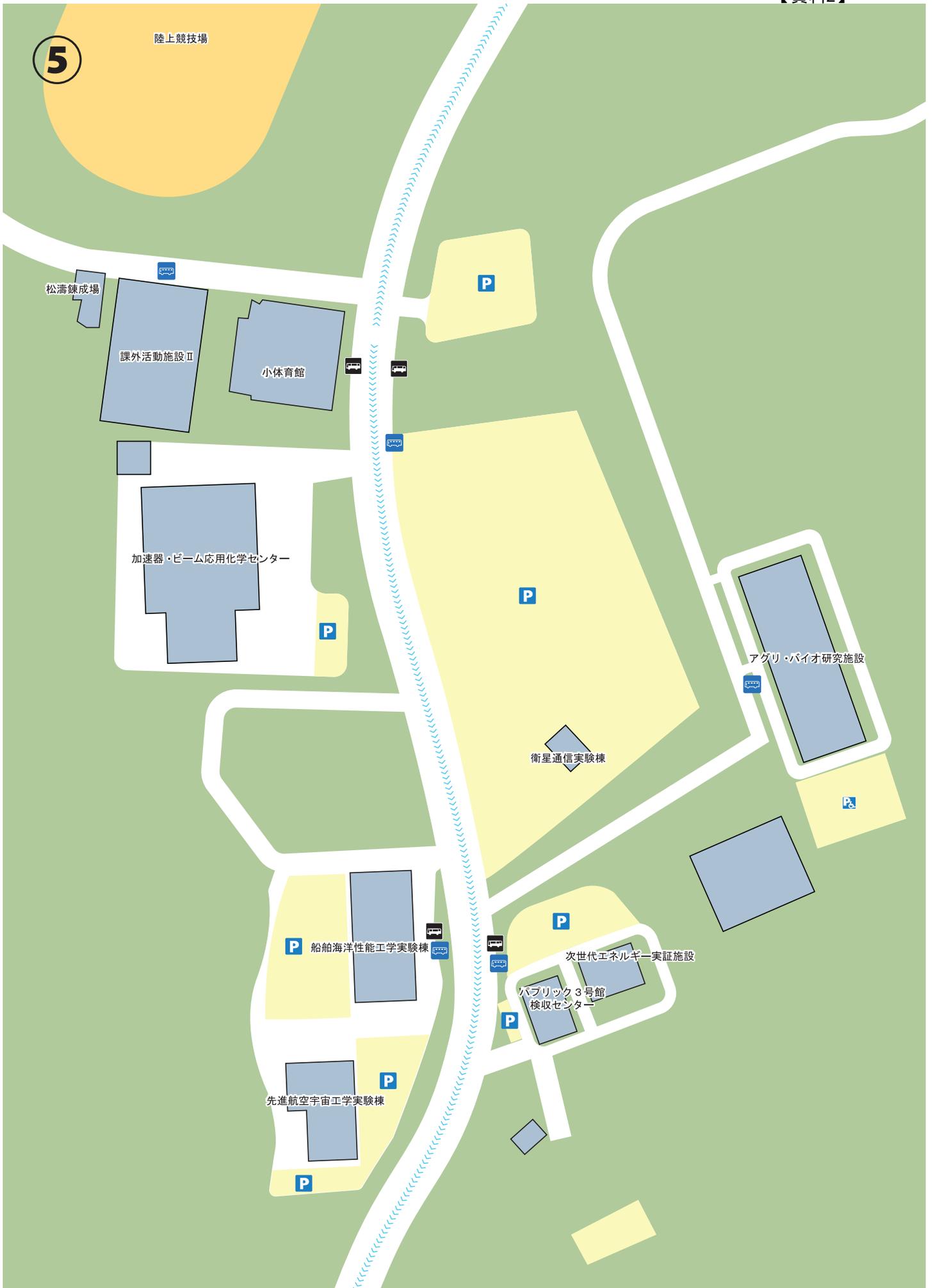
駐輪場
バイク置場

【資料2】

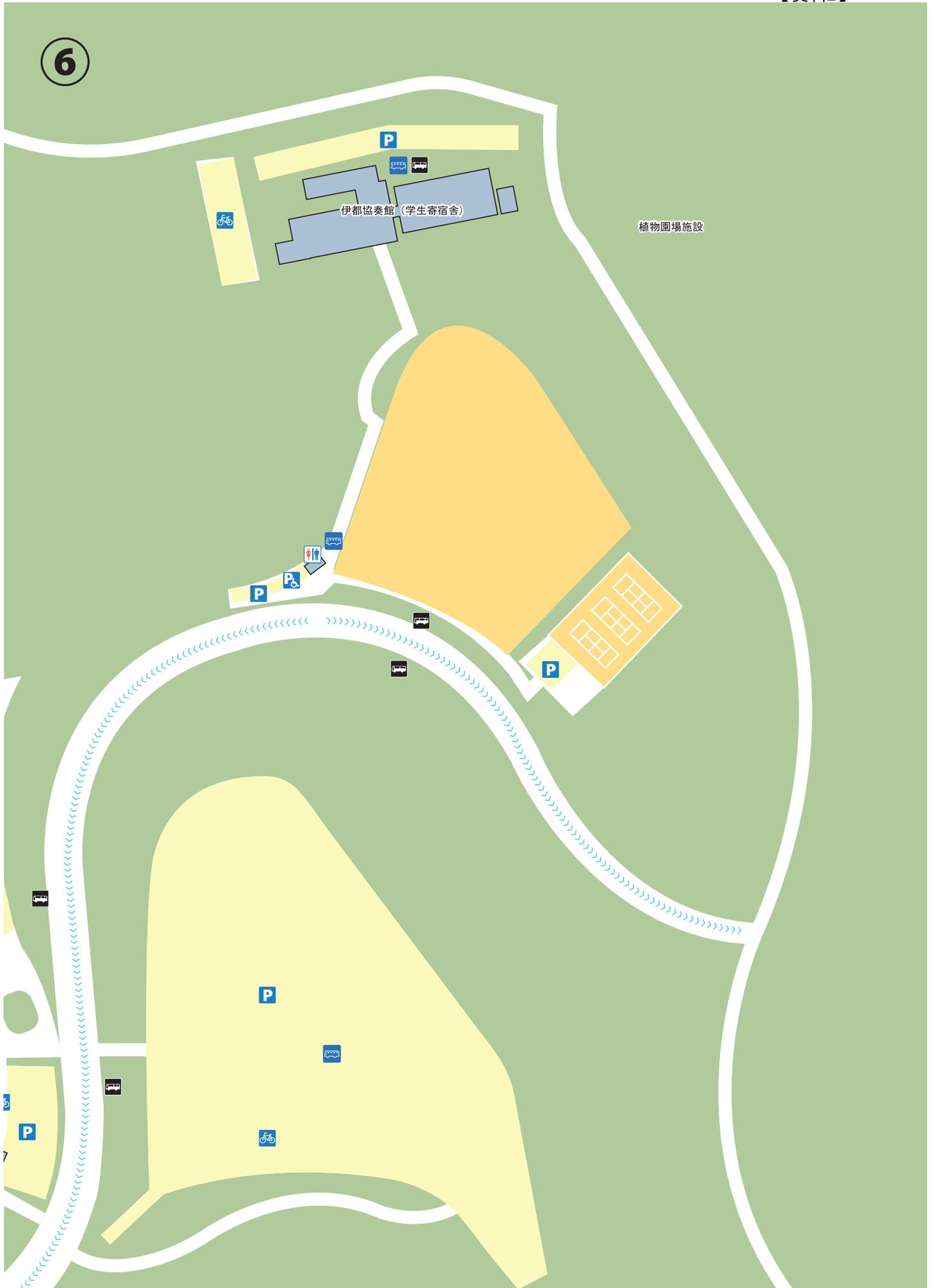
バイク置場

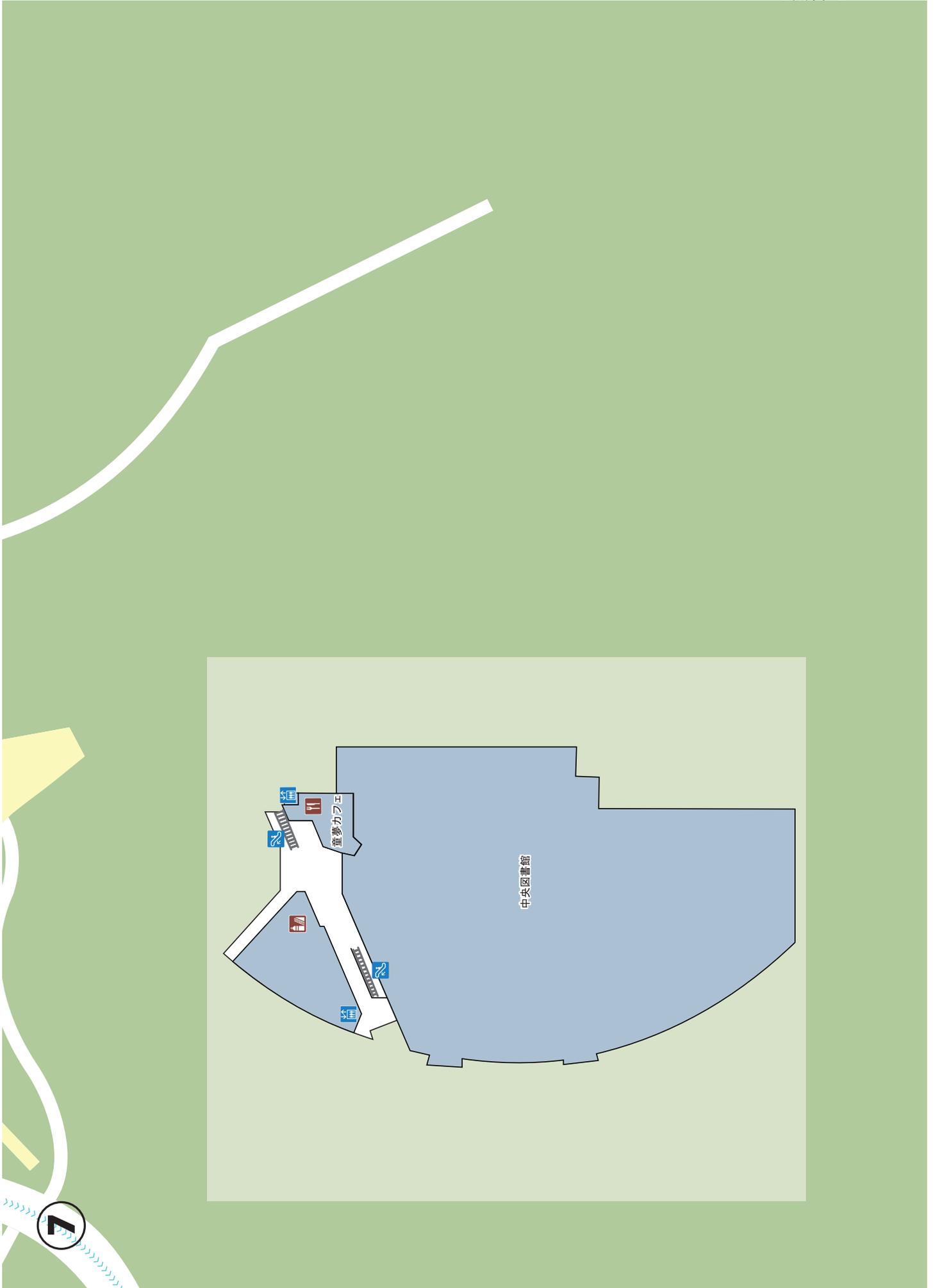
駐輪場

バイク置場



6





2025 年度大会使用教室数（見込み）

	2025 年度大会 必要教室数 (見込み)	(参考) 大会準備要領	(参考) 2023 年度大会 (近畿)
学術講演会	60～63	65 程度	61
研究集会	4～6	10 程度	4
デザイン発表会	2～3	2～3	2
休憩室 3～5	3～5	3～5	？
表彰式会場	2	2	1
設計競技	1	1	1
建築作品展	1	1	1
設計競技審査員控え室	1	1	？
本部	1	1	？
VIP 用控え室	1	1	？
学生スタッフ控え室	3	適宜	？
託児所	1	1	？

九州大学伊都キャンパス教室一覧

建物名等	階層	室名	座席数	面積 (m2)	現時点の仮割り付け				
					学術講演会 65	研究集会 4	デザイン発表	休憩室 3 ~ 5	その他
椎木講堂	1-2F	コンサートホール (閉鎖時)	1,000	1,200					開会式・閉会式
	1-3F	コンサートホール (開放時)	3,000	2,500					
	1-2F	ギャラリー	-	-					
	1-2F	ホワイエ	-	-					展示、作品展
	1F	控室	-	-					
	1F	大会議室	120	260					
	3F	第1講義室	140	200	△				
	3F	第2講義室	210	280	△				
	3F	第3講義室	130	180	△				
	3F	第4講義室	210	280	△				
3F	第5講義室	140	200	△					
稲盛財団記念館	1F	稲盛大ホール (ホールのみ利用)	280	不明		△			
	1F	稲盛大ホール (稲盛サロン利用時)	280	不明		△			
	2F	センター会議室	10	不明					
イースト1号館	1F	演習室 A-101	30	67					
	1F	演習室 A-102	30	63					
	1F	演習室 A-103	30	51					
	1F	演習室 A-104	30	51					
	1F	演習室 A-105	60	85	○				
	1F	演習室 A-117	140	163	○				
	1F	演習室 A-118	98	120	○				
	1F	演習室 B-101	98	120	○				
	1F	演習室 B-102	45	66				○	
	1F	演習室 B-103	30	56					
	1F	演習室 B-104	30	59					
	1F	演習室 B-105	30	60					学生スタッフ
	1F	演習室 B-106	22	38					
	1F	演習室 B-112	200	207	○				
	2F	演習室 B-207	12	28					
	2F	演習室 B-208	32	50					
	2F	演習室 B-217	12	23					
	2F	演習室 B-218	12	23					
	2F	演習室 B-219	12	23					
	2F	演習室 B-220	12	22					
	2F	演習室 B-221	12	27					
	2F	演習室 C-210	12	22					
	2F	演習室 C-211	12	23					
	2F	演習室 C-212	30	49					
	2F	A-215CLS	60						
	1F	プレゼンスペース							展示
	イースト2号館	1F	講義室 D-103	350	333	○			
1F		講義室 D-105	250	258	○				

【資料4】

	1F	講義室 D-106	50	71	○				
	1F	講義室 D-107	50	71	○				
	1F	講義室 D-108	24	44					
	1F	講義室 D-109	24	44					
	1F	講義室 D-110	12	22					
	1F	講義室 D-111	12	22					
	1F	講義室 D-112	12	22					
	1F	講義室 E-101	30	60					学生スタッフ
	1F	講義室 E-102	30	59					
	1F	講義室 E-103	30	57					
	1F	講義室 E-104	30	60					
	1F	講義室 E-105	70	98	○				
	1F	講義室 E-109	140	149	○				
	1F	講義室 E-110	100	121	○				
	1F	講義室 E-112	100	139	○				
イーストゾーン中央	1F	大講義室 I	500	508	○	○	○		
	1F	大講義室 II	500	522	○	○	○		
		学習スペース					○		展示
センター1号館	2F	講義室 1209	30	66					
	2F	講義室 1210	30	66					
	3F	講義室 1303	80	163					
	3F	講義室 1304	28	69					
	3F	講義室 1305	40	69					
	3F	講義室 1306	40	69					
	4F	講義室 1401	58	130					
	4F	講義室 1402	80	163					
	4F	講義室 1403	80	163					
	4F	講義室 1404	34	69					
	4F	講義室 1405	40	69					
	4F	講義室 1406	40	69					
	4F	講義室 1407	40	69					
	4F	講義室 1408	40	69					
	6F	講義室 1607	30	68					
	6F	講義室 1608	30	68					
センター2号館	1F	講義室 2103	63	112	○				
	1F	講義室 2104	63	112	○				
	1F	講義室 2105	63	112	○				
	1F	講義室 2106	63	112	○				
	1F	講義室 2107	60	132	○				
	1F	講義室 2108	60	132	○				
	2F	講義室 2201	63	112	○				
	2F	講義室 2202	63	112	○				
	2F	講義室 2203	63	112	○				
	2F	講義室 2204	63	112	○				
	2F	講義室 2205	40	83				○	
	2F	講義室 2206	40	83					
	2F	講義室 2207	63	112	○				
	2F	講義室 2208	63	112	○				
	2F	講義室 2209	63	112	○				
	2F	講義室 2210	63	112	○				
	2F	講義室 2211	63	112	○				
	2F	講義室 2212	63	112	○				

【資料4】

	2F	講義室 2213	40	80					学生スタッフ
	2F	講義室 2214	40	80					
	2F	講義室 2215	63	112	○				
	2F	講義室 2216	63	112	○				
	3F	講義室 2301	40	83					
	3F	講義室 2302	40	83					
	3F	講義室 2303	127	199	○				
	3F	講義室 2304	127	199	○				
	3F	講義室 2305	127	199	○				
	3F	講義室 2306	127	199	○				
	3F	講義室 2308	127	199	○				
	3F	講義室 2309	40	80					
	3F	講義室 2310	40	80					
	4F	講義室 2401	40	83					
	4F	講義室 2402	40	83					
	4F	講義室 2403	150	226	○	○			
	4F	講義室 2404	150	226	○	○			
	4F	講義室 2406	150	226	○				
	4F	講義室 2407	150	226	○				
	4F	講義室 2408	40	80					本部会議室
	4F	講義室 2409	36	80					本部控え室
	4F	中央の大部屋							本部
ウエストゾーン 総合学習プラザ	2F	工学部大講義室	222	315	○	○			
	1F	工学部第5講義室	88	106	○				
	1F	工学部第6講義室	88	106	○				
	1F	工学部第7講義室	88	103	○				
	1F	工学部第8講義室	88	103	○				
	1F	工学部第9講義室	88	103	○				
	1F	工学部第10講義室	50	66				○	
	1F	工学部第11講義室	50	66					
	2F	工学部第12講義室	88	106	○				
	2F	工学部第13講義室	88	106	○				
	2F	工学部第14講義室	88	103	○				
	2F	工学部第15講義室	88	103	○				
	2F	工学部第16講義室	88	103	○				
ウエストゾーン 西講義棟	2F	第1講義室	254	260	○	○			
	2F	第2講義室	133	164	○				
	3F	第3講義室	184	206	○				
	3F	第4講義室	111	151	○				
ウエスト4号館	2F	工学部中講義室	130	146	○				
日本ジョナサン・ KS・チョイ文化館	1F	中山ホール	126	211	△				
	1F	ウィン・カム賓室	12	60					
・教室が不足する場合の補充候補									
ウエスト2号館		各部門が所有する教室							
ウエスト4号館		各部門が所有する教室							
センター5号館		各部門が所有する教室							

2022 年度日本建築学会大会（北海道）
Annual Meeting of AIJ,
2022 Hokkaido

会期 9月5日(月)～8日(木)

会場 北海道科学大学 および オンライン

大会メインテーマ 「描く」



私たちはこれまで経験のしたことがない「コロナ禍」の状況が約2年間も続いているが、多くの人々はその時々のコロナ禍の状況に対して、自分たちで試行錯誤しながら対応している状況である。コロナウイルスは次々と変異し2年が過ぎても終息の兆しが見えない状況であるが、その間に、私たちの意識や行動は大きく変容し、不自由さをカバーできる情報通信技術が急速に進展したことで、私たちをとりまく都市や建築にも大きな影響を与えている。また、昨年度（2021年度）の日本建築学会大会の学術講演会においては、コロナ禍における生活実態の研究も発表されるなど、新たな生活創造にむけての研究も進んできた。そのようななか日本建築学会大会も新しい展開に向けて、どのように進むべきかを検討する時期にきている。新しいコトへの挑戦・展開に向けては、いくつもの困難を乗り越えていく必要があるが、その困難を乗り越えるためには今後の大会をどのようにするのかといった目標を「描く」こと、かつ、それを達成するための過程をも「描き」ながら進めていくことが必要となる。そこで、2022年度大会は「描く」をメインテーマとして、日本建築学会大会の目標と進め方を大会参加者みなさんと一緒に考えたい。

屏写真：北海道科学大学講義棟G

設計者：佐藤孝+北海道工業大学新講義棟ワーク+清水建設一級建築士事務所

2022年度日本建築学会大会（北海道）

2022年度日本建築学会大会（北海道）

会期

9月5日（月）～8日（木）

会場

北海道科学大学およびオンライン

大会メインテーマ

「描く」

2022年度日本建築学会大会（北海道）は北海道科学大学およびオンラインの開催を基本とします。

学術講演会と建築デザイン発表会はZoomによるライブ開催、研究集会はパネリスト・司会者は教室会場による熱い議論を聴講者にZoomでライブ配信しつつ、オンラインの聴講者からの質問にもリアルタイムで対応するハイブリットによる開催といたします。

これは、2022年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策の励行継続が見込まれること、東海大会アンケートにおいてオンライン希望者や併用型希望者が多かったことが背景にあります。一方、学会大会は学会会員等が集い、議論や情報交換をする一大イベントでありますので、是非とも北海道へお越しいただきたく対面開催を検討しましたが、上記の理由により本開催は研究集会のパネリスト・司会の方々のみにご来場いただく「一部来場型開催」で大会のOpen化を一歩進める形で開催いたします。詳細については、追ってお知らせいたします。

※ 本学会場（北海道科学大学）に入構できる方々は、研究集会のパネリストおよび司会の方々のみです。学術講演会および建築デザイン発表会のみ参加者につきまして、会場（北海道科学大学）へ入構はできませんので、ご注意ください。

大会参加費申込みについて

大会参加費は、大会オンライン会場に入場するのに必要な費用です。今年度の大会参加費は、例年の早割金額に統一します（第1期～第3期ともに同額）。

なお、講演発表者には発表登録費と大会参加費を合算して請求いたしますので、申込は不要です。

大会参加IDとパスワードは8月末頃にメール通知されます。

大会参加費

種別		参加費
名誉会員		無料
正会員	一般	4,500円
	大学院生	2,500円
準会員		無料
会員外	一般	7,500円
	大学院生	3,500円（学生証提示）
	学部学生	無料（学生証提示）

※ 大会参加費をお支払いいただく大会参加ID・パスワードが発行されます。

※ 講演発表者、共同発表者の発表登録費と大会参加費については、下記を参照ください。

<https://www.aij.or.jp/jpn/databox/2022/taikaifee02.pdf>

申込方法

1. 本会HP [<https://www.aij.or.jp/>] を開いてください。
2. [2022年度大会参加費申込み] を開いてください。
3. 画面にしたがって必要事項を入力してください。
4. 内容を確認後、送信して申込みは完了です。
5. 申込完了のメールを送信しますので、必ず注意事項をご確認ください。

●第2期受付：6月20日（月）～8月15日（月）予定

お支払方法：クレジットカード払いのみ

●第3期受付：8月下旬（予定）～

お支払方法：クレジットカード払いのみ

参加費の返金

納入した参加費は返還いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

大会での「能力開発支援制度」履修記録について

本大会の履修登録は、建築CPD運営会議の建築CPD情報提供制度を利用していますので、CPD単位の取得が必要な方は、大会Webサイトの「能力開発支援制度」よりご申請ください。なお、登録には、建築CPD情報提供制度参加IDや建築士、建築設備士番号等が必要となります。大会ではIDを管理しておりませんので各自でご確認ください。

体の不自由な方への対応

障がいをお持ちの方にも大会へご参加いただけるようなサービスを準備する予定です。詳細は、大会HPにてお知らせします。できるだけご希望にお応えできるよう努力しますが、サービス内容は年度により異なる場合がございますので、ご了承ください。

開催概要

1. メインテーマ：「描く」

私たちはこれまで経験のしたことがない「コロナ禍」の状況が約2年間も続いているが、多くの人々はその時々のコロナ禍の状況に対して、自分たちで試行錯誤しながら対応している状況である。コロナウイルスは次々と変異し2年が過ぎても終息の兆しが見えない状況であるが、その間に、私たちの意識や行動は大きく変容し、不自由さをカバーできる情報通信技術が急速に進化したことで、私たちをとりまく都市や建築にも大きな影響を与えている。また、昨年度（2021年度）の日本建築学会大会の学術講演会においては、コロナ禍における生活実態の研究も発表されるなど、新たな生活創造にむけての研究も進んできた。そのようななか日本建築学会大会も新しい展開に向けて、どのように進むべきかを検討する時期にきている。新しいコトへの挑戦・展開に向けては、いくつもの困難を乗り越えていく必要があるが、その困難を乗り越えるためには今後の大会をどのようにするのかといった目標を「描く」こと、かつ、それを達成するための過程をも「描き」ながら進めていくことが必要となる。そこで、2022年度大会は「描く」をメインテーマとして、日本建築学会大会の目標と進め方を大会参加者みなさんと一緒に考えたい。

2. 記念行事

2022年度大会のテーマは「描く」に設定し、それを本大会の記念行事として以下（1）から（3）のように翻訳した。北海道の建築や都市のあり方やその特徴は、本州などでトレンドになっていることとは一線を画すものであるとも言える。そのような地域性・場所性に関連した建築や都市づくりの活動を掘り起こし発信することが、北海道大会の記念行事として位置づけ、以下3つのテーマをみなさまに提供する。

配信方法：oom (Live)、大会Webサイト掲載

配信期間：大会開催期間

アクセス方法：大会Webサイトより専用ページにリンク、大会参加者に専用のアクセスキーが配布されます。

※ 大会参加者のみ閲覧可能

※ 状況により変更することがありますので大会Webサイトにて確認ください

（1）記念行事①：特別記念講演会「(仮) 都市・地域空間に新たな価値を生み出す」

世界中で活躍をする北海道美幌市出身の安田侃氏は、2020年度に「彫刻による魅力的な公共空間の創出」により日本建築学会文化賞を受賞された。安田氏の創作の特徴は、彫刻そのものの持つ力を周辺の空間にまで波及させ、空間と一体化した環境を造形することにある。世界中で展開される氏の彫刻を使ったアートプロジェクトは、新しくつくられた建築や都市空間だけではなく、既存の都市空間にも設置するというアートプロジェクトで、その場のポテンシャルを一気に高め、訪れる市民誰もが共感でき、居場所となるパブリックスペースが生成される。今回は、北海道美幌市にある安田侃氏の彫刻が旧産炭地の廃校になった小学校の旧校舎や校庭、背景の自然環境に展示されるダイナミックな彫刻美術館「アルテピアッツァ美幌」から、その環境を紹介しつつ、都市や地域の空間を彫刻を配置することによって再編集し、新たな価値を「描いて」いく方法論を語っていただく。

日時：9月4日（日）14:00～（予定）

配信方法：安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美幌からLiveによるオンライン開催

出演者：安田侃氏、他出演者交渉中、聞き手：小篠隆生（北海道大学）

（2）記念行事②：『北海道の現代建築03』

前々回（2004年度・北海道大学）および前回（2013年度・北海道大学）の大会において、『北海道の現代建築02』と『北海道の現代建築01』を発刊してきた。そそれは北海道における建築賞受賞作品（北

海道建築賞、北海道赤レンガ建築賞、JIA関係の建築賞）、日本建築学会賞（作品）、作品選奨、作品選集などに掲載された北海道の都市や建築に関するブックレットである。地域性や場所性と深く関係を有する北海道という場において新たな都市や建築の作品を「描き」つけてきており、今回3回目となる『北海道の現代建築03』は、2013年以降、今に至るまでの作品群をまとめたものである。

配信方法：大会Webサイトに『北海道の現代建築』のページを設け、過去2冊とともにデジタルブックを掲載する（大会に参加登録した会員にはダウンロード可能とする予定）

（3）記念行事③：地域からの建築・まちづくり情報発信「2018年北海道胆振東部地震から4年～それぞれの復興まちづくりをめぐるWebエクスカッション」

昨今、日本各地で大規模災害が昔に比べ多発している。いまま現状「コロナ禍」という世界的規模での災害が発生している状況である。北海道においては1993年北海道南西沖地震により奥尻町が津波による大災害にみまわれた。最近では、2018年に北海道胆振東部地震が発生したが、その災害発生から4年経過した。災害発生から同じ復旧事業を進めつつも、復興においては、自治体ごとのまちづくりの重点や、震災前からの施策により、まちづくりの方向は異なる様相を見せている。災害発生から4年たった被災地の現在の取り組みを見つめ、人口減少・農村地域における地震災害からの復興まちづくりをどのように「描いて」いこうとしているのかを、被災3自治体の関係者より生の情報をご紹介します。実感していただきたい。

日時：9月8日（木）12:00～13:30（予定）

配信方法：事前収録映像の配信とWeb配信システムを活用したリアルタイム開催（予定）

出演者（予定）：安平、厚真、むかわ町の町長（ビデオ出演）、各自治体関係者、定池祐季（東北大学）他

3. 開会式・閉会式

（1）開会式

日時：9月5日（月）8:45～9:00

会場：オンライン

（2）閉会式

日時：9月8日（木）17:30～17:45

会場：オンライン

4. 研究協議会・研究懇談会・パネルディスカッション

pp.50～51 参照

5. 表彰

（1）2022年度日本建築学会技術部門設計競技

「将来の環境変化を見据えた学校施設の改修設計」表彰式

日時：9月5日（月）9:00～9:30（予定）

会場：オンライン

（2）2022年日本建築学会奨励賞贈呈式

2022年日本建築学会優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞表彰式

日時：9月5日（月）15:00～16:00

会場：オンライン

（3）2022年作品選集新人賞贈呈式

日時：9月7日（水）14:00～16:00

会場：オンライン

6. 関連行事

(1) 2022年度学生と地域との連携によるシャレットワークショップ

主催：住まい・まちづくり支援建築会議 教育・普及部会
 ワークショップ期間：8月下旬～9月下旬ごろの予定（3日間の現地開催の後、リモートでの数週間の作業を経て、最終発表会を予定）
 開催地：岩手県紫波町（予定）
 講師：野原卓（横浜国立大学）、阿部俊彦（立命館大学）、鷗心治（山口大学）、岡絵理子（関西大学）、北原啓司（弘前大学）、小浦久子（神戸芸術工科大学）、小林正美（明治大学）、野澤康（工学院大学）、野嶋慎二（福井大学）、他（予定）
 ※ 新型コロナウイルス感染症のまん延状況により、予定が変更になる場合があります。

(2) 学生による語り合いのシンポジオン2022

学生諸君は「日々の日常活動を大切に」と考え、まちづくり、住まいづくり、種々ボランティアなど、旺盛なチャレンジ精神で主体的かつ精力的に活動しています。

シンポジオンでは、そうし 学生諸君の活動について話題提供の場を設け、語り合いと自由討議により参加者全員で交流い します。

日時：9月6日（火）13:30～16:00

会場：オンラインZoom ※オンライン関連情報は参加申し込みい だい 後に連絡します

定員：100名（申込先着順）

内容：話題提供学生による活動プレゼンテーションおよび自由討議

参加には二種類あります。

A. 話題提供に参加（学生） B. 交流として参加（学生・職業人・市民）

◆A. 話題提供（学生チーム）

地域を特定せず、大学・短大・高専等から5～10チーム程を募集い します。北海道地域以外のチームも大歓迎です。件名に「建築学会大会シンポジオン話題提供申込み」と明記して、下記の項目を記入のう え、E-mailでお申し込みい だきます。なお、チームは複数名で構成い できれば幸いです。

- 1) 学校名、所属
- 2) 代表学生氏名（会員・会員外問わず学部生も大歓迎）
- 3) 代表学生連絡先（住所、電話、E-mail アドレス）
- 4) アドバイザー教員（窓口教員）の氏名と所属
- 5) テーマ（内容が具体的に分かるようにサブテーマも可）

申込締切：8月28日（日）19:00

◆B. 交流としての参加（学生・職業人・市民）

話題提供はせず、話題提供学生と自由に語り交流をお願いします。

件名に「建築学会大会シンポジオン交流参加」と明記して、下記申込先まで、ご所属と氏名をお知らせください。

申込締切：9月4日（日）19:00

問合せ・申込先：栗原知子（福井大学）

E-mail：tawahara@u-fukui.ac.jp

TEL：0766-27-9967（研究室直通）

(3) 子ども教育支援建築会議 楽々建築・楽々都市@札幌（オンライン開催）

「屋外での学びを再考する - 楽しく遊ぶ・感じる・体験するための空間づくり -」

主催：子ども教育支援建築会議

日時：9月8日（木）13:00～15:00

会場：オンライン（Zoom）

内容：

第1部 実践発表「屋外空間を活用し 遊び・学び・体験の空間」

① 大通うえい（札幌市）

林匡宏（Commons fun代表）

② 桑園あそびばプロジェクト（札幌市）

寺坂崇（まなびデザイン代表）

③ 厚真冒険の杜プロジェクト（厚真町）

宮下桂（厚真町まちづくり推進課課長）

第2部 ディスカッション「屋外での学びを再考する」

コーディネーター：椎野亜紀夫（札幌市立大学教授）

パネリスト：林匡宏・寺坂崇・宮下桂（前掲）

定員：50名

参加費：無料

詳細・申込み：本会Webページ

(4) 第11回司法支援建築会議建築紛争フォーラム「積 寒冷地特有の建築紛争の現状と課題」

主催：司法支援建築会議運営委員会

日時：9月4日（日）13:30～17:00

会場：オンライン

1) 開会挨拶：緑川光正（司法支援建築会議運営委員会委員長、北海道大学名誉教授）

2) 主旨説明：羽山広文（北海道支部司法支援建築会議運営委員長、北海道大学名誉教授）

3) 基調講演：中野琢郎（札幌地方裁判所民事三部総括判事）

4) 事例報告：高橋智（札幌民事調停協会会長、札幌弁護士会所属）、平井卓郎（北海道大学名誉教授）、高松康二（かまつ技術士事務所）、堀田里佳（佳総合設計室）

詳細：本会HP

問合せ：横山隆（北海道支部司法支援建築会議運営委員会幹事）

t091_yokoyama@kai-koei.co.jp

2022年日本建築学会賞（論文）

受賞者記念講演

分野	講演題目	講演者	期日	時間	会場（オンライン）	司会
材料施工	高強度・高性能コンクリートの性能評価と品質管理方法に関する一連の研究	陣内浩	9月6日(火)	13:45～14:00	第C室 (材料施工 [RC工事] PD)	橘高義典 (材料施工委員会委員長)
構造	特異値分解によるモード抽出を利用した逆解析手法に関する研究	鈴木琢也	9月7日(水)	13:45～14:00	第A室 (構造 [応用力学] PD)	五十田博 (構造委員会委員長)
環境工学	健康な住まいの温熱環境のあり方に関する一連の研究	長谷川兼一	9月6日(火)	13:45～14:00	第A室 (環境工学研協)	秋元孝之 (環境工学委員会委員長)
	バッシブデザインの高度合理化と気候適応建築外皮の開発に関する一連の研究	樋山恭助		14:00～14:15		
	積雪寒冷地域における高断熱化が建築環境へもたらす影響に関する一連の研究	森太郎		14:15～14:30		
建築計画	計画の実装と行為による空間創出に関する一連の研究	小野田泰明	9月7日(水)	13:45～14:00	第C室 (建築計画研協)	清家剛 (建築計画委員会委員長)
	可変性を有した集合住宅の居住履歴、改修履歴調査を通じた居住環境の経年変化に関する一連の研究	南一誠		14:00～14:15		
建築社会システム	建築生産情報のマネジメント技術に関する研究—鉄筋工事における設計・加工・施工の生産情報の連携に着目した技術的解決策について	曾根巨充	9月7日(水)	9:00～9:15	第E室 (建築社会システム研協)	齊藤広子 (建築社会システム委員会委員長)
建築歴史・意匠	和釘から洋釘への転換に関する一連の研究	平山育男	9月6日(火)	9:00～9:15	第E室 (建築歴史・意匠研協)	山崎鯛介 (建築歴史・意匠委員会委員長)

学術講演会・建築デザイン発表会 研究協議会・研究懇談会・パネルディスカッション一覽

部門	研究集会 1	研究集会 2	研究集会 3	研究集会 4	研究集会 5	材料施工 1	材料施工 2	材料施工 3
室名	第 A 室	第 B 室	第 C 室	第 D 室	第 E 室	第 1 室	第 2 室	第 3 室
オンライン	Zoomミーティング							
< 8:45 > 開会式 (第 3 室)								
9月5日(月)	9:00 ~ 12:45 表彰式 (技術部門 設計競技)	9:00 ~ 9:30 材料施工 (防水工事) PD	特別調査 (数値解析) 研協	都市計画 PD	建築社会 システム 研懇	1001 } 1023 混和材・混合セ メント/化学混 和剤/スラグ骨 材	1171 } 1190 改修・維持保全	
	[9:00 ~ 12:30] 構造 研協							
	13:45 ~ 17:30 構造 (シェル・ 空間構造) PD	総合研協 (脱炭素)	建築教育 PD	建築法制 研協	建築 歴史・意匠 PD	1024 } 1048 スラグ骨材/骨 材の試験方法/ 骨材の品質ほか /新材料	1191 } 1210 改修・維持保全	1319 } 1340 流動化コンク リート/高流動 コンクリート/高 強度コンクリ ート/軽量コン クリート
	[13:45 ~ 17:15]							
9月6日(火)	9:00 ~ 12:45 構造 (基礎構造) PD	特別調査 (建築SDGs 宣言推進) 研協	構造 (荷重) PD	特別研究 (離散的アー バニズム) PD	学会賞講演 建築 歴史・意匠 研協	1049 } 1074 新材料/水和・ 強度発現/フレ ッシュ時の物性 /力学特性	1211 } 1223 鉄筋コンクリ ート造躯体の補 修・改修	1341 } 1365 木材・木質材 /塗料
	[9:00 ~ 12:30]							
	13:45 ~ 17:30 学会賞講演 環境工学 研協	総合研協 (コロナ対応)	学会賞講演 材料施工 (RC工事) PD	海洋建築 研協	情報 システム技術 研協			
	[13:45 ~ 17:15]							
9月7日(水)	9:00 ~ 12:45 構造 (鋼構造) PD	構造 (RC構造) PD	特別調査 (建築の保存・ 活用) PD	農村計画 研協	学会賞講演 建築社会 システム 研協	1075 } 1099 力学特性/収縮 /アルカリ骨材 反応・凍害/中 性化	1224 } 1247 仕上材・木部材 補修・改修ほか/ 遮蔽用・原子力 発電所施設用、 ポリマーセメン ト、再生骨材 コンクリート	1366 } 1390 塗料/間仕切壁 /内装
	[9:00 ~ 12:30]							
	13:45 ~ 17:30 学会賞講演 構造 (応用力学) PD	構造 (木質構造) PD	学会賞講演 建築計画 研協	都市計画 研協	地球環境 PD(1)	1100 } 1120 腐食・防食/耐 久性一般	1248 } 1270 再生骨材コン クリート/プレ キャストコン クリート/マス コンクリート	1391 } 1412 開口部・断熱 材ほか/床
	[13:45 ~ 17:15]							
9月8日(木)	9:00 ~ 12:45 構造 (SCCS) PD	地球環境 + 特別研究 (原発長期災害) PD	特別研究 (建築と模型) PD	農村計画 PD	防 火 PD	1121 } 1146 鉄筋工事・型 枠工事/打込み ・打継ぎ/養生 ・仕上げ	1271 } 1295 繊維補強・CFT コンクリート/ フライアッシュ ・環境配慮型 コンクリート/ 高炉スラグ 高含有セメント	1413 } 1431 仕上材の性能 評価/鉄骨下 地乾式間仕切 壁
	[9:00 ~ 12:30]							
	13:45 ~ 17:30 構造 (振動) PD	地球環境 PD(2)	建築計画 PD	都市計画 研懇	防 火 研協	1147 } 1170 試験・検査法/ 暑中コンクリ ート工事	1296 } 1318 CCU骨材・型 枠/環境配慮 型コンクリ ート・リサイ クル/ポーラス コンクリート/ スラッグ利用	1432 } 1455 支持部材・工 法の性能評価 /高経年・歴史 的建築物の仕 上材/タイル/ 屋根
	[13:45 ~ 17:15]							
< 17:30 > 閉会式 (第 11 室)								

[注] [] 内の時間：研究集会の時間帯

研協：研究協議会、研懇：研究懇談会、PD：パネルディスカッション、学会賞講演：2022年学会賞(論文)受賞者記念講演

材料施工 4	構造 1	構造 2	構造 3	構造 4	構造 5	構造 6	構造 7	構造 8
第 4 室	第 5 室	第 6 室	第 7 室	第 8 室	第 9 室	第 10 室	第 11 室	第 12 室
Zoomミーティング								
9月5日(月)								
＜ 8:45 ＞開会式 (第 3 室)								
1456 1479 3Dプリンティング/建設ロボット/レーザースキャナ・計測技術/BIM・情報化施工	20159 20182 基礎構造 土の調査・性質/地盤改良	22001 22024 木質構造 集成材/NLT・重ね梁/組立梁/複合部材	22152 22170 木質構造 モーメント抵抗 接合	22326 22349 鉄骨構造 梁材	22424 22445 鉄骨構造 ボルト・高力ボルト/溶接/その他の接合要素	20307 20330 シェル・空間構造 シェル構造/立体骨組の設計荷重/立体骨組の静的挙動	20448 20474 シェル・空間構造 集客施設の天井・非構造材	23001 23024 RC構造 コンクリート/RC構成則・解析法/継手
1480 1502 杭・山留め壁・土工事/解体工事/工事現場・施工マネジメント/工業化工法	20183 20195 連続地中壁/山留め	22025 22047 木質材料特性	22171 22191 大規模木造:木質接着パネル、CLT耐力壁、集成材プレーム	22350 22370 梁材/引張材/圧縮材ほか	22446 22466 継手/柱脚/パネル	15:00 ~ 16:00 表彰式 (奨励賞・優秀論文)		23025 23048 付着・定着/RC梁柱接合部
1503 1523 高力ボルト・金属材料/溶接施工		22048 22066 耐久性・疲労特性/腐朽・蟻害/継手・仕口	22192 22215 大規模木造:ブレース、RC木質混合部材ほか/木質部材・接合部ほか	22371 22392 鋼構造平面骨組	22467 22490 ブレース	20331 20356 立体骨組の静的挙動、地震応答、振動制御、支承部・下部構造		23049 23068 RC梁柱接合部/RC部材接合・スラブ/RC非構造壁
1524 1547 溶接施工/現場ロボット溶接/現場施工・検査法	20196 20219 杭:鉛直	22067 22090 柱頭柱脚接合部/接合具	22216 22236 木質ラーメン構造/木質構造と他構造のハイブリッド	22393 22407 鋼構造立体骨組	22491 22502 ブレース/耐震壁/パネルダンパーほか	20357 20378 立体骨組の地震荷重・耐力/膜構造	20001 20021 荷重・信頼性 信頼性・リスク/安全性/設計法/地震荷重	23069 23092 あと施工アンカー・スタッド/せん断
1548 1570 シート防水/塗膜防水・ドレン/防水アーカイブスほか	20220 20244 杭:水平	22091 22112 面材壁	22237 22258 木質構造新工法/実大静加力/振動台実験/木質構造地震応答解析			20379 20392 【OS】植物構造オプト	20022 20045 津波荷重/土石流/温度・衝撃荷重/積灰・雪荷重	
1571 1579 シーリング材	20245 20268 杭:水平/既存杭	14:00 ~ 16:00 新人賞贈呈式		22408 22423 鋼構造骨組の振動/その他の鋼構造骨組	22503 22524 鋼構造設計法ほか/素材特性/耐震補強ほか	20393 20402 【OS】植物構造オプト	20046 20063 数値流体解析/リスク・被害/風速	23093 23116 RC梁/その他の基本特性
1580 1603 エコマテリアル/廃棄物利用/コンクリートの環境配慮/LCA・低炭素	20269 20287 動的問題/バイルド・ラフトと沈下/地盤の支持力/液状化	22113 22130 仕口性能評価/接合部・架構実験/土壁/面格子壁	22259 22278 木質水平構造/CLT2方向スラブ/ハイブリッド屋根・床	22291 22310 木質構造 小規模木造制振/伝統木造制振/免震/中大規模木造制振	22525 22548 柱梁接合部	20403 20423 【OS】植物構造オプト/構造デザイン・構造形態創生	20064 20076 風荷重/風応答	23117 23140 RC梁/RC柱
1604 1625 環境配慮・低炭素/ジオポリマー/材料・部材の高耐久化・耐用年数	20288 20306 小規模建築物基礎	22131 22151 伝統建築物特性・設計法/伝統建築物耐震診断・補強	22279 22290 木質構造被害調査・実態調査/木質構造水害対策	22311 22325 木質構造基礎・耐震設計法/CLT耐震設計法	22549 22572 柱梁接合部/柱材	20424 20447 ケーブル・ハイブリッド構造/ガラス・木・紙・その他の新素材/構造イノベーションほか		23141 23165 RC柱
＜ 17:30 ＞閉会式 (第 11 室)								

枠内の数字：講演番号、【OS】：オーガナイズドセッション

	構造 9	構造 10	構造 11	構造 12	構造 13	構造 14	建築社会システム 1	防火1/建築社会システム2/研究集会6	防火2/情報システム技術
	第13室	第14室	第15室	第16室	第17室	第18室	第19室	第20室	第21室
Zoomミーティング									
< 8:45 > 開会式 (第3室)									
9月5日(月)	23166 23188 RC構造 RC耐震壁	21001 21022 振動 被害と評価/動力学的断層モデル/震源パラメーター/震源モデル	21145 21164 振動 モニタリングシステム/損傷評価手法	21303 21323 振動 積層ゴム/すべり支承/すべり基礎	21465 21485 原子カプラント耐震設計・耐震解析/基礎浮上り/最適化・深層学習・アンカー	23351 23373 壁式構造・組積造 設計法・モニタリング・新構法/補強組積造・混合構造・無筋組積造		3001 3023 防火 金属系構造材料の耐火性能/建築物の火害診断技術等	3126 3144 防火 材料の燃焼性/材料等の試験法/[OS]可燃性材料の燃え広がり性状とその評価
	23189 23212 RC骨組/RC設計・性能評価	21023 21034 震源モデル/地震波伝播/日本海溝付近の地震	21165 21184 損傷評価手法/応答推定/パラメーター推定/モデル同定/被災度判定	21324 21338 ダンパー	21486 21494 免震装置	23374 23397 無筋組積造/海外の組積造/コンクリートブロック塀・その他の塀	8001 8024 空き家対策/居住者の意識や評価/住文化とストックの継承/リフォーム・住居費負担	3024 3048 コンクリート床スラブ等の耐火性能/コンクリート系材料の加熱時・加熱後の性状ほか	11001 11025 情報 システム技術 点群・スキャン/システム化ほか/計画・設計分野の情報技術応用
9月6日(火)	23213 23236 RC設計・性能評価/RC基礎・杭・杭頭接合部	21035 21058 微動/表層地盤の非線形/地盤増幅率/地盤減衰/シミュレーション/長周期地震動	21185 21207 AI・人体感覚/被害推定/災害対応	21339 21359 免震システム/風応答	21495 21516 コンクリート材料	22573 22596 SCCS CFT柱/CFT接合部	8025 8048 マンション・住宅地の需要/集合住宅の管理/住まいの災害復旧/住まいの安心・安全	3049 3071 火災時の木質材料/木質部材・接合部の耐火性能/木質系耐火構造	11026 11049 デザイン科学/AI・機械学習・深層学習
	23237 23260 RC基礎・杭・杭頭接合部	21059 21081 地下構造探査/強震動予測/地震動予測式/機械学習	21208 21231 相互作用:実験・観測, 設計法・応答評価, FEM解析・既存杭	21360 21376 衝突・緩衝/取付部・エキスパンションジョイント	20077 20096 応用力学・構造解析 力学基礎理論と臨界現象・境界状態の力学/数値解析法	22597 22611 合成梁/ずれ止め/構造計画・設計法	8049 8072 居住支援/居住福祉/多様な住まい・多文化共生/木材活用/建築コスト	[OS]木質構造の耐火性能等に関する最近の研究動向/薬剤処理木材/複合部材	3145 3166 防火 煙流動・区画火災性状/[OS]合理的な煙制御の考え方/避難行動特性・介助避難/避難設計法ほか
9月7日(水)		21082 21104 振動実験:室内空間, 非構造部材, RC造ほか	21232 21255 粘性・粘弾性ダンパー/質量ダンパー	21377 21400 建物応答評価	20097 20118 流れ場・材料の力学/衝撃解析・設計/機械学習/構造最適化・形状最適化	22612 22635 SC柱/CES構造/柱脚/座屈拘束ブレース/FRP構造/合成構造架橋		3091 3114 木質構造外壁等の耐火設計/木質系被覆の鋼構造部材/火災事例分析/火災リスク評価ほか	11050 11071 情報 システム技術 BIM・CAD・設計システム/DX・デジタルツイン
	23261 23282 相互作用/その他の骨組構造/震害/RC耐震診断/RC耐震改修・空間拡大	21105 21120 模型実験/センサーとシステム/解析的検討/災害	21256 21279 質量ダンパー/履歴ダンパー/制御性能評価	21401 21423 建物応答評価/設計事例・調査報告	21441 21464 振動 超高層建物・全体曲げ/損傷・損失評価/風力発電設備支持物/減衰・地盤の影響	22636 22651 端部RC中央S梁/異種材料接合部/柱RC梁S造	8073 8096 安全・品質・マネジメント/合理化・工業化/環境配慮/技能・教育	[OS]歴史的建築物・市街地の防火対策/都市火災・広域避難	11072 11094 モニタリング・センシング・データ計測・XR・可視化・仮想環境
9月8日(木)	23283 23303 RC耐震補強柱・梁・接合部/壁・外付け/RC免震・制震補強	21121 21144 新たな観測方法/建物の振動特性/観測記録の活用	21280 21302 制御性能評価/各種制震システム	21424 21440 モニタリング・観測/耐震設計/振動特性ほか	20119 20141 応用力学・構造解析 最適設計/構造計画/ロバスト設計/応答制御設計	23311 23333 PC構造 アンボンド梁/アンボンド柱/アンボンド壁	8097 8118 DX/VR・BIM	災害 緊急報告会 (2022年 福島県沖地震)	11095 11118 GIS/都市地域計画/防災・構造・材料分野・人間科学分野の情報技術活用/データベース/教育
	23304 23310 型枠・施工法ほか				20142 20158 地震動/逆解析/システム同定	23334 23350 PC架構/プレキャスト部材/PC接合部/材料・新素材/耐震補強工法	8119 8142 公共施設管理/民間資産管理/資産評価/リスク評価		8143 8161 建築社会システム 社会論/マネジメント論/人材と支援
< 17:30 > 閉会式 (第11室)									

	建築計画1	建築計画2	建築計画3	建築計画4 海洋建築	都市計画1	都市計画2	都市計画3	都市計画4	環境工学1
	第22室	第23室	第24室	第25室	第26室	第27室	第28室	第29室	第30室
Zoomミーティング									
＜ 8:45 ＞開会式（第3室）									
9月5日（月）	5001 } 5020 避難行動・安全 ／避難施設・防 犯／情報設計・ 建築知識	5156 } 5179 学校における COVID-19・ ICT／特別支援 ・インクルーシ ブ／職員室・図 書室・特別教室	5310 } 5333 商業・業務施設	5462 } 5483 建築計画 海外の居住環境 ／海外建築の空 間・景観分析/ 海外の住宅計画 ／空間と評価	7001 } 7023 都市・地域交通 ／都市構造の変 容／海外都市の 形成と変容	7134 } 7156 商店街の変化、持 続可能性／歩行 空間のネットワ ーク／屋外空間の テナビリティと歩 行環境	7282 } 7305 居住地選択と生 活再建／避難行 動とレジリエン ス／避難所対策 と避難計画ほか	7422 } 7442 都市計画制度と 市街地変容／地 域資源と観光/ 新たな観光ほか	40239 } 40257 光環境 採光／眺望・グ レサ／光環境調 査・数値計算/ 加齢と光環境
	5021 } 5042 設計プロセス・ 設計教育／設計 手法・ツール/ FM、プログラ ミング／コラポ レーション	5180 } 5201 学習空間・教室ま わり／木造・校舎 の更新／中学校・ 大学・ラーニング コモンズ／複式・ 教育支援機能	5334 } 5354 商業・業務施設 ／幼老複合・就 労支援／生活関 連諸施設／道の 駅・納骨堂	5484 } 5505 住宅作品の平面 分析／平面構成 の変遷／都市の 変遷・縮小	7024 } 7046 海外都市の形成 と変容／市街地 の形成と変容/ 都市と場の理念 とイメージ	7157 } 7179 地方都市の低未 利用地の利活用 ／地域資源を活 かしたまちづく りほか	7306 } 7329 市街地と火災/ 復興と地域構造 ／事前復興／災 害の実態	7443 } 7452 【OS】ポストコ ロナを見据えた 観光と地域の関 係性のリデザイ ン	40258 } 40272 視認性・誘目性 ／明るさ／印象 ・評価
9月6日（火）	5043 } 5065 都市景観／外部 空間構成／街路 空間・ファサド ／内部空間評価	5202 } 5223 医療施設／高齢 者入居施設／高 齢者施設：居住 ・地域・通所施 設	5355 } 5378 図書館・社会教 育施設／居住ス タイル／居住要 求／開かれた住 宅・地域交流	5506 } 5528 構法とファサド ／構法開発/ 改修・リノベー ション／木造	7047 } 7056 都市政策／都市 のビジョンとプ ラン	7180 } 7199 住環境と住民意 向／住環境のル ール・政策／屋 外空間の利用や 愛着	7330 } 7336 【OS】都市と産 業	7453 } 7475 オンライン活用 と参加のまちづ くり／ゲーミフ ィケーション/ 住民参加／社会 実験イベント	40273 } 40281 【OS】仮想環境に おける光・視環 境の提示と評価
	5066 } 5088 印象評価／仮想 空間と認識／空 間構成と概念/ 都市の認知	5224 } 5246 高齢者の住まい と防災／障害者 施設／複合化・ 共用・転用／地 域施設計画論	5379 } 5399 在宅ワーク／領域形成 ほか／【OS】建築フ ィールドワークの拡張 ニューノーマルにお ける居住文化の再構築を 新たな方法で捉える	5529 } 5551 構法と地域性/ 地方・歴史	7057 } 7069 【OS】安心して住 める地域づくり/ 【OS】公民連携に よる拠点デザイン/ 【OS】公共施設の再 編と拠点デザイン	7200 } 7224 子どもと住環境 ／コミュニティ の拠点／郊外の 住環境	7337 } 7359 まちなかの公共 空間／街路空間 の活用／公共空 間と社会実験	7476 } 7496 地域資源の保全 と地域活動／ま ちづくり活動と 支援策／地域施 設転用と市民参 加／自然・緑地	
9月7日（水）	5089 } 5111 環境行動・心理 ／居方・使われ 方／経路探索・ 視認性	5247 } 5269 集会・コミュニ ティ施設／劇場 ・ホール	5400 } 5422 団地再生・建替 え／団地空間の 評価／住宅供給 ・技術／コモン スペースとマネ ジメント	10001 } 10014 海洋建築 流力弾性／洋上 風車／津波・環 境・教育	7070 } 7092 区域区分制度・ 立地適正化計画 ／都市拠点と複 合化／市街地整 備の実態／地域 資源の継承	7225 } 7243 高齢者の住環境 ／住民の交流/ 【OS】生活様式 変容と住環境	7360 } 7383 公共空間と住民 参加／街路のウ ォカビリティ	7497 } 7520 歴史的景観	40001 } 40011 環境心理生理 +光環境 【OS】景観研究の 現在とこれから
				10015 } 10027 安全・防災・避 難計画／空間整 備計画／観光・ レクリエーショ ン					40012 } 40032 環境心理生理1 住宅の健康影響 ／テレワーク/ バイオフィリッ クデザイン・緑 化
9月8日（木）	5112 } 5137 規模・配置計画 ／群集流動・停 留／行動特性/ 移動のユニバ サルデザイン	5270 } 5285 美術館・博物館 ／スポーツ施設	5423 } 5446 発達障害・居住 支援／共生空間 と多世代居住/ 高齢者の生活行 動・環境／住宅 改修	5552 } 5569 建築計画 施設利用・文化 ／自治体や地域 の取り組み／地 域空間の特徴・ 変遷	7093 } 7116 歩行者・人流分 析／ウォークア ブル・計画支援/ コロナ禍によ る変化／避難・ 3D可視化	7244 } 7259 【OS】キャンパ スのリビングラ ボが貢献する都 市空間デザイン の計画論・実践 論とは	7384 } 7405 公共空間の形成 ／祭礼と公共空 間／街路空間の 形成と評価/ パークマネジメ ント	7521 } 7542 景観イメージ・ 景観評価	40033 } 40055 バイオフィリッ クデザイン・緑 化／心地よさ・ 木質材料／生体 情報計測／知的 生産性・香り
	5138 } 5155 バリアフリー/ 利用者本位のデ ザイン／視覚障 害者の行動支援	5286 } 5309 こども施設／学 童・子育て支援 施設／社会的養 護	5447 } 5461 都市居住・空間 構成／集合住宅 ・利用管理実態 ／居住地の地域 特性	5570 } 5582 作家・思想／設 計・思考・構成	7117 } 7133 モデル・拠点及 び施設配置／施 設・空間の評価 ／緑及び公園の 評価	7260 } 7281 環境負荷低減/ 水害リスクと居 住／水害との共 生／災害リスク と対策	7406 } 7421 市街地動態／空 き家活用／水辺 と公共空間	7543 } 7566 都市デザイン・ 景観論／景観マ ネジメント／景 観計画・景観整 備	40056 } 40078 ワークプレイス ：知的生産性、 ABW、コミュニ ケーション
＜ 17:30 ＞閉会式（第11室）									

	環境工学 2	環境工学 3	環境工学 4	環境工学 5	環境工学 6	環境工学 7	環境工学 8	農村計画/教育/環境工学 9	建築歴史・意匠 1
	第 31 室	第 32 室	第 33 室	第 34 室	第 35 室	第 36 室	第 37 室	第 38 室	第 39 室
Zoomミーティング									
9月5日(月)	＜ 8:45 ＞開会式 (第 3 室)								
	40079 40102 環境心理生理2 複合環境・個人差・多様性/景観・サウンドスケープ/空間的印象/サインの認知	40292 40315 熱環境1 気象データ/部材の熱性能評価/遮熱・蓄熱/自然換気	40444 40467 熱環境2 熱環境シミュレーション/非住宅の温熱環境/非住宅・屋外の温熱環境	40989 41011 都市環境 都市の緑/暑熱リスク/暑熱環境適応策/屋外環境の温熱生理・心理	40612 40624 空気環境1 【OS】粒子と感染リスク/【OS】換気と感染症対策	41100 41121 環境設計 住宅環境設計/地域環境設計・設計技術/SDGs/住宅の環境評価・ライフスタイル	40839 40860 環境設備2 外気導入・空調機器/放射冷暖房システム/個別空調システム	6001 6016 農村計画 建築・敷地空間/文化的景観	9001 9025 建築論 制作・作品/思想/言説/批評
9月6日(火)	40103 40121 施設評価/意識・行動/音環境	40316 40333 【OS】カーボンニュートラルに向けた外皮性能/開口部/住宅の熱性能・エネルギー性能	40468 40491 オフィスの熱的快適性/熱的快適・許容範囲/屋外・半屋外空間	41012 41036 都市環境実測・評価/都市の風環境評価/都市気候シミュレーション/ヒートアイランド緩和	40625 40648 大学講義室, 学校・保育施設, オフィス等の換気・空調/病室・トイレ等の局所排気	41122 41137 室内環境評価・省エネ行動/執務環境のウェルネス化	40861 40879 吹出気流/タスク・アンビエント空調ほか/空調制御システム/【OS】環境建築とカーボンニュートラル	6017 6031 漁村・漁家と空き家/コミュニティと地域づくり	9026 9037 意匠論 形態
	40122 40139 音環境 室内音場・ステージ音響/室内音響設計/音環境評価/駅の音環境	40334 40354 住宅の温熱環境	40492 40511 睡眠と適応/住宅温熱環境の健康リスク	41037 41060 EMS/未利用・再生可能エネルギー活用/地域エネルギーシステム・スマートエネルギーネットワーク	40649 40673 住宅の換気・空調/気密測定・気密性評価/室内気流のCFD解析手法/室内気流・エアカーテン	41138 41160 建築物の環境評価/緑化・生態系/木材生産・流通・環境評価	40880 40902 温熱・空気環境/実測評価/ABWオフィス評価/空調システムの数値解析・省エネルギー	6032 6051 移住と交流・ツーリズム/生活と復興/生業と風土・景観	
9月7日(水)	40140 40158 数値解析/騒音対策・測定評価/吸音/【OS】床衝撃音に関する最近の話題	40355 40377 ゼロエネルギー建築	40512 40534 暑熱環境/被験者実験/測定・調査手法	41061 41082 環境建築・ZEB/都市環境計画/低炭素都市/住宅・スマートタウン/建築・都市のエネルギー・水消費	40674 40697 住宅の自然換気・通風/オフィスの自然換気/業務用施設/自然換気/自然換気の制御・評価・検証	41161 41179 LCCO ₂ 評価ほか/【OS】Living Environments for Sustainable Housing in Asian Developing Countries	40903 40924 商業・工場の設備/特殊用途の設備/住宅の太陽光発電/住宅のエネルギー	13001 13016 教育 教育内容・方法・ツール/デジタル教育・学校教育/学生教育	9061 9084 都市
	40159 40182 床衝撃音/固体音・防振	40378 40401 ゼロエネルギー建築/建築設備のデザイン/建築環境性能の総合評価/環境性能向上のファサードデザイン	40535 40552 【OS】多様な空間の睡眠環境/【OS】住宅の睡眠環境/多様な空間の温熱環境	41083 41099 空間データ利用技術: GIS・リモートセンシング/都市防災・減災・BCP・DCP	40698 40718 工場の換気・空調/厨房等の換気/新型コロナ対策	41180 41187 【OS】Living Environments for Sustainable Housing in Asian Developing Countries	40925 40946 住宅のエネルギー/建築設備のデマンドレスポンス/非住宅のエネルギー性能/ゼロエネルギー建築	40201 40224 環境振動 加振力・地盤振動/振動伝搬/床振動	9085 9108 活動/イメージ
9月8日(木)	40183 40200 遮音/屋外騒音測定・道路交通騒音・騒音受容・騒音紛争	40402 40426 地域の気候と自然エネルギー利用技術/パッシブデザイン/住まい方・住みこなし、使い方・使いこなし	40553 40577 結露・吸放湿/空間内の湿度/壁体内の水分移動/凍結・融解	40788 40811 水環境/ゼロウォータービルディング/防災/給水システム・衛生/排水システム	40719 40741 におい評価/粒子状物質/化学物質/空気環境と快適性	40763 40787 空気環境2 モデリング・数値解析手法/CFD・機械学習/気流性状ほか/風環境評価法・気象データ	40947 40968 非住宅の性能評価/設備保全・ヒューマンファクター/建築設備のIoT	40225 40238 振動予測・解析/小規模建築物の振動/振動感覚・性能評価	9109 9133 イメージ
	40282 40291 電磁環境 電磁環境・計測評価・磁気環境・放射線環境	40427 40443 熱環境適応と住環境教育ほか【OS】バイオクライマティックデザインのみつけかた・つくりにかた	40578 40602 文化財と湿気/塩類と水分移動/木質材料と湿気/人間と湿気	40812 40817 排水システム	40742 40762 微生物/空気清浄/濃度分布/換気・空調	40818 40838 建築設備1 熱源機器・配管方式・熱源制御システム/実測評価・システムシミュレーションほか	40969 40988 シミュレーションツール/建築設備のAI/ハンデミック/気象・施工	40603 40611 熱環境3 【OS】機械学習・最適化/部位の熱性能	9134 9157 イメージ
＜ 17:30 ＞閉会式 (第 11 室)									

OS

建築歴史・意匠 2		建築デザインA / 建築歴史・意匠 3	建築デザインB
第 40 室		第 41 室	第 42 室
Zoomミーティング			
< 8:45 >開会式 (第 3 室)			
9月5日 (月)	9158 } 9178 日本建築史 寺社/史料	14001 } 14023 建築デザイン 保存・再生/構 造構法	14074 } 14089 交通
	9179 } 9200 住宅・城郭/近 世住宅/民家ほ か	14024 } 14036 仮設建築の構造 リユース/常設 建築の構造リユ ース	14090 } 14107 設計手法
9月6日 (火)		14037 } 14055 「場」をつくる /「領域」をと らえる/「しか け」をつくる	14108 } 14131 都市のにぎわい /ランドスケ ープ
	9201 } 9217 東洋建築史 東南アジア・中 東・アフリカ/ 中国・台湾・朝 鮮	14056 } 14073 地域再生	14132 } 14150 お宝探検
9月7日 (水)	9218 } 9241 保存 プロセス・事例 /技法・材料・ 工法・評価/調 査手法	9299 } 9317 建築歴史・意匠 日本近代 軍事施設・鉄道 /物流施設・戦 後建築/公共建 築	14151 } 14169 人の動きでつな ぐ/建築エレメ ントでつなぐ/ プログラムでつ なぐ
	9242 } 9251 調査・保存論・ 資料/防災ほか	9318 } 9339 材料・構造・教 育/建築資料/ 建築作品・設計 プロセス/建築 思想	14170 } 14188 「土地らしさ」を 叶える建築:土 地と都市/大地 と建築/土地と インフラストラ クチャー
9月8日 (木)	9252 } 9275 都市史 アジア(中国・台 湾・朝鮮)/集落 /日本(戦後・現 代)/都市形成と インフラ	9340 } 9361 住宅(戸建事例 ・供給・文献資 料)	14189 } 14207 脱炭素社会に向 けた建築やまちの デザイン:まち くり/建築資材系 ほか/リノベーシ ョン・ZEB
	9276 ~ 9286 日本(中近世・ 近代)	9362 } 9384	14208 } 14231
	9287 ~ 9298 西洋建築史 西洋古代・中世 ・ビザンツ/西 洋近世	西洋近代 19世紀-20世紀初 頭/20世紀前半 /20世紀アメリ カ・フランス/ル ・コルビュジエ	医療・教育/ワ ークプレイス/ 居住空間
< 17:30 >閉会式 (第 11 室)			

研究集会 研究協議会・研究懇談会・パネルディスカッション

※ 研協：研究協議会、研懇：研究懇談会、PD：パネルディスカッション

※ 今回の研究集会はオンラインで開催します。

※ 各研究集会の詳細は本会Webページをご覧ください。

部門・委員会	種別	主題	頒布資料	日時	室名
	総合研究協議会	建築分野のカーボンニュートラル	あり	9月5日(月) 13:45～17:15	第B室
	総合研究協議会	ウイズ/アフターコロナへの建築学の対応	あり	9月6日(火) 13:45～17:15	第B室
材料施工	PD(RC工事)	デジタルファブリケーションが切り開くRC工事の未来	あり	9月6日(火) 14:00～17:15	第C室
	PD(防水工事)	寒冷地防水の現状と課題	あり	9月5日(月) 9:00～12:30	第B室
構造	研協	性能規定化から20年・その現状と未来	あり	9月5日(月) 9:30～12:30	第A室
	PD(応用力学)	建築構造の数値解析利用における失敗を防ぐには?	あり	9月7日(水) 14:00～17:15	第A室
	PD(荷重)	JIS A 3305から見た国内構造基準の課題と荷重規定	あり	9月6日(火) 9:00～12:30	第C室
	PD(基礎構造)	高支持力杭工法の信頼性確保のための課題 —何が変わったのか、今後どうあるべきか	あり	9月6日(火) 9:00～12:30	第A室
	PD(木質構造)	木造建築多様化時代における木質構造材の特性値の課題と方向性	あり	9月7日(水) 13:45～17:15	第B室
	PD(鋼構造)	新しい軽鋼構造の可能性と 計法を探る	あり	9月7日(水) 9:00～12:30	第A室
	PD(RC構造)	FEMはどこまで進んだか?	あり	9月7日(水) 9:00～12:30	第B室
	PD(SCCS)	鋼コンクリート構造接合部の 計および施工法の現状と今後の展開 —合成構造配筋指針の作成を見据えて	あり	9月8日(木) 9:00～12:30	第A室
	PD(シェル・空間構造)	空間構造ヘリテージの継承に向けて	あり	9月5日(月) 13:45～17:15	第A室
	PD(振動)	免震・制振技術の周辺環境と未来 —免震・制振の10年後・30年後を見据える	あり	9月8日(木) 13:45～17:15	第A室
防火	研協	見える化により「火災に強く、安全な建築」を身近に	あり	9月8日(木) 13:45～17:15	第E室
	PD	関東大震災と火災延焼動態調査 —その現代的意義と活用方策	あり	9月8日(木) 9:00～12:00	第E室
環境工学	研協	カーボンニュートラル実現に向けて —2050年まで、そして2050年以降の課題と展望	あり	9月6日(火) 14:30～17:15	第A室
建築計画	研協	地方都市の再開発が生む空間の規模と質 —その妥当性とリアリティ	あり	9月7日(水) 14:15～17:15	第C室
	PD	構法史のアクチュアリティ —構法と歴史から、いまつくることを考える	あり	9月8日(木) 13:45～17:15	第C室
農村計画	研協	世代の継承に向けて —少人数社会のかたち	あり	9月7日(水) 9:00～12:30	第D室
	PD	地場の造形はふたたび見いだせるか	あり	9月8日(木) 9:00～12:30	第D室
都市計画	研協	新たな価値を実現するための都市・都市計画の枠組み	あり	9月7日(水) 13:45～17:15	第D室
	研懇	ウォークアブルシティに向けたアーバンストリートの統合デザイン	あり	9月8日(木) 13:45-17:15	第D室
	PD	縮小時代における空き地活用の方法論	あり	9月5日(月) 9:00～12:30	第D室
建築社会システム	研協	安心安全の建築企画	あり	9月7日(水) 9:15～12:30	第E室
	研懇	脱ベッドタウンの地域ネットワーク	あり	9月5日(月) 9:00～12:30	第E室
建築歴史・意匠	研協	近現代建築の評価と活用 —新たな局面に向けて	あり	9月6日(火) 9:15～12:30	第E室
	PD	建築と古典主義	あり	9月5日(月) 13:45～17:15	第E室
海洋建築	研協	洋上風力発電への建築の関わりとその課題	あり	9月6日(火) 13:45～17:15	第D室
情報システム技術	研協	建築と情報 —これからの建築学に向けて	あり	9月6日(火) 13:45～17:15	第E室

部門・委員	種別	主題	頒布資料	日時	室名
建築教育	PD	近現代建築プロジェクトがもたらしたアウトリーチとその課題	あり	9月5日(月) 13:45～17:15	第C室
建築法制	研協	建築ストック社会からみた建築法制度の在り方	あり	9月5日(月) 13:45～17:15	第D室
地球環境	PD(1)	改めて問うサステナブル都市論	あり	9月7日(水) 13:45～17:15	第E室
	PD(2)	改めて問う、「脱炭素社会における日本の理想住宅を問う」	あり	9月8日(木) 13:45～17:15	第B室
災害	緊急報告会	令和4(2022)年3月16日福島県沖の地震 災害調査報告会	なし	9月8日(木) 9:00～11:30	第20室
建築と模型 [若手奨励] 特別研究	PD	建築と模型	あり	9月8日(木) 9:00～12:30	第C室
離散的アーバニズム論 [若手奨励] 特別研究	PD	越境するアーバニズムのアプローチ	あり	9月6日(火) 9:00～12:30	第D室
建築物の性能を保証する数値解析技術と資格制度に関する特別調査	研協	建築物の性能を保証する数値解析技術と資格制度	あり	9月5日(月) 9:00～12:30	第C室
建築のスクラップアンドビルドと保存・活用に関する特別調査	PD	名建築も普通の建築も長く活用される日常社会を創造するために	なし	9月7日(水) 9:00～12:30	第C室
建築SDGs宣言推進特別調査	研協	建築学会SDGsアクション	あり	9月6日(火) 9:00～12:30	第B室
地球環境+原発長期災害対応特別研究	PD	原発激甚災害100年を見据えた長期的対応に必要なことは何か	あり	9月8日(木) 9:00～12:30	第B室

2023年度日本建築学会大会（近畿）
Annual Meeting of AIJ,
2023 Kinki

会期 9月12日(火)～15日(金)

- ・オンライン開催(初日)：9月12日(火)
- ・対面開催(第2日～第4日) 京都大学：9月13日(水)～15日(金)

会場 京都大学 + オンライン



大会メインテーマ 「歴史がひらく未来」

「歴史」とは過去に始まり、現在、そして未来へと続く時間的なパースペクティブを意味します。一方、「建築」とは空間をつくり出す営みですが、それは同時に時間の経過とともに人びとの生活に浸透し、意味や文化の基盤となってきました。そうした建築的な時空間が広がる街、それが京都です。京都には古代から現代に至るまで、さまざまな時代の出来事と遺産が堆積していて、そのうえで未来に向けた新たな挑戦が試みられています。モダニズムという近代文明の大きな転換期にある今日、歴史都市・京都で建築のこれから進む道を考えます。

写真：京都大学吉田キャンパス 百周年時計台記念館

2023年度日本建築学会大会（近畿）

2023年度日本建築学会大会（近畿）

会期

9月12日（火）～15日（金）

オンライン開催（初日）：9月12日（火）

対面開催（第2日～第4日）京都大学：9月13日（水）～15日（金）

会場

京都大学+オンライン

大会メインテーマ

「歴史がひらく未来」

2023年度日本建築学会大会（近畿）は初日の9月12日（火）をオンラインで、続く3日間の13日（水）から15日（金）を京都大学・吉田キャンパスにおいて対面で開催します。金沢工業大学での大会から4年ぶりの対面開催となります。

コロナ禍で普及したオンライン開催には、遠方からの参加に時間と費用を要さず、場所にも縛られずに視聴できるなどの利点がある一方、コミュニケーションで相手の感情やニュアンスを理解することが難しく、発表前後の対話や交流が結果的に制限されて、新しいアイデアの創出や深い議論が難しいという課題もあります。そこで、2023年の大会では、初日の研究集会（PD、研究懇談会）をオンラインで開催し、参加者同士の交流が期待される学術講演会、建築デザイン発表会、総合研究協議会、研究協議会、大会記念シンポジウム、表彰式、懇親会、見学会などは、2日目以降に対面で開催することになりました。

なお、総合研究協議会と大会記念シンポジウムについては、京都大学・吉田キャンパスでの対面開催に加えてオンラインでも同時配信を行うほか、すべての研究集会（PD、研究懇談会、総合研究協議会、研究協議会）を録画して、大会参加者が9月末までオンラインで視聴できるようにする予定です。

大会の参加登録と受付についても、アフターコロナにふさわしい非接触化と合理化を取り入れた形で開催いたします。

大会参加費申込みについて

大会参加費（以下、参加費）は、大会オンライン会場および対面会場（京都大学吉田キャンパス）に入場するのに必要な費用です。参加費には「事前参加費」と「当日参加費」があり、「事前参加費」は割引料金となっています（下表参照）。なるべく「事前申込受付期間」に申込お支払いを完了させてください。

※ 講演発表者には発表登録費と大会参加費を合算して請求させていただきますので、参加申込は不要です。

※ 懇親会は、別途、大会ホームページからお申し込みください。

参加申込期間

●事前申込受付：6月8日～8月27日

●当日申込受付：9月1日～9月15日

参加費一覧

区分	事前参加費（割引適用） （支払期間： 7/10～8/27）	当日参加費 （支払期間： 9/1～9/15）
名誉会員	0円	0円
正会員 一般	5,000円	7,000円
正会員 大学院生 （要 学生証提示）	3,000円	4,000円
準会員 （要 学生証提示）	0円	0円
会員外 一般	8,000円	10,000円
会員外 大学院生 （要 学生証提示）	4,000円	5,000円
会員外 学部学生等 （要 学生証提示）	0円	0円

事前参加費の支払期間内にお支払いが完了しないと割引は適用されませんので、ご注意ください。

申込方法

2023年度日本建築学会大会（近畿）では、大会専用マイページ（以下、大会マイページ）での参加手続きが必要です。

大会マイページの概要はp.49にて詳細をご確認ください。

<講演発表者 / 共同発表者>

- ・ 6月8日にログイン用のID・パスワードをメールで通知しております。
- ・ 共同発表者の大会参加申込みは大会マイページ内で手続きをしてください。

<大会参加のみ（発表者以外）>

- ・ 大会HP [<https://taikai.aij.or.jp/2023/>] から新規参加申込みの手続きを行い、ログイン用のID・パスワードを取得してください。

[注意事項]

- ・ 大会マイページにログインし、費用をお支払いいただくと申込手続きは完了です。
- ・ 登録完了時・支払い完了時にはメールが送信されますので、必ずご確認ください。
- ・ 請求書および領収書は大会マイページからダウンロードが可能です。

決済方法

コンビニ決済またはクレジット決済のみ

参加費の返金

納入した参加費は返還いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

大会会場入場方法（会期：2023年9月12日～15日）

- ・参加費のお支払いが完了した方の大会マイページには、9月上旬以降にオンライン会場への入場ボタンおよびQRコードが表示されます。
- ・9月12日のオンライン会場：大会マイページ上の「オンライン会場」ボタンから入場できます。
- ・9月13日～15日の対面会場（京都大学吉田キャンパス）：大会マイページ上に表示されるQRコードを会場受付でご提示ください。参加票・ケースをお渡しいたします。

大会当日の参加申込について

大会会場では参加費支払い用の窓口は設けられませんので、各自のスマートフォン等から大会参加申込みおよび決済したうえで受付にお越しください。

大会会場におけるWi-Fi接続について（重要）

大会会場には、参加者向けのWi-Fi接続サービスは用意されません。会場でWi-Fi接続が必要な場合は、各自で必要な機器等をご準備ください。

なお、eduroam加盟機関に所属する高等教育機関や研究機関からの参加者は、事前に所属機関でアカウントを取得しておくことで、会場内の無線アクセスポイント設置箇所からWi-Fi接続が可能です。必ず事前に所属機関で接続テストを行い、正しく接続できることを確認してください。大会会場では不具合等に対応しません。

※eduroamは、国内外の大学等教育研究機関の間でキャンパス無線LANの相互利用を実現するサービスです。アカウント取得は、所属機関の担当者にお問い合わせください。

eduroamに関して

<https://www.eduroam.jp/>

eduroamの加盟機関に関して

<https://www.eduroam.jp/participants/siteinfo.html>

eduroamの接続方法に関して

https://www.eduroam.jp/for_users

講演発表をされる方へ（重要）

大会会場のプロジェクターはHDMI端子のみに対応しています。使用するノートパソコンにHDMI端子がない場合は、必ずご自身で変換アダプタ等をご持参ください。

梗概集の事前ダウンロードについて（重要）

今大会から、DVD版の梗概集が廃止され、オンライン版梗概集を大会ホームページ（大会用マイページ）からダウンロードする方式に変わります。現在、ファイル形式を検討中ですが、データ容量が大きくなるため、会場でスムーズにダウンロードできない場合が想定されます。あらかじめ必要な梗概をダウンロードした上で会場にお越しください。

なお、大会ホームページからオンライン版梗概集をダウンロードできる期間は8月中頃～10月末の予定です。

大会での「能力開発支援制度」履修記録について

本大会の履修登録は、建築CPD運営会議の建築CPD情報提供制度を利用していますので、CPD単位の取得が必要な方は、大会ホームページの「能力開発支援制度」よりご申請ください。なお、登録には、建築CPD情報提供制度参加IDや建築士、建築設備士番号等が必要となります。大会ではIDを管理しておりませんので各自でご確認ください。

託児室のご案内

大会期間中、小さなお子様を預かる託児室を開設します。ご利用には事前予約が必要です。詳しくは大会ホームページをご覧ください。

大会ホームページ：<http://taikai.aij.or.jp/2023/>

体の不自由な方への対応

障がいをお持ちの方にも大会へご参加いただけるようなサービスを準備する予定です。申し込み方法や詳細は、大会ホームページにてお知らせします。詳しくは大会ホームページをご覧ください。

大会ホームページ：<http://taikai.aij.or.jp/2023/>

開催概要**1. メインテーマ：「歴史がひらく未来」**

「歴史」とは過去に始まり、現在、そして未来へと続く時間的なパースペクティブを意味します。一方、「建築」とは空間をつくり出す営みですが、それは同時に時間の経過とともに人びとの生活に浸透し、意味や文化の基盤となってきました。そうした建築的な時空間が広がる街、それが京都です。京都には古代から現代に至るまで、さまざまな時代の出来事と遺産が堆積していて、そのうえで未来に向けた新たな挑戦が試みられています。モダニズムという近代文明の大きな転換期にある今日、歴史都市・京都で建築のこれから進む道を考えます。

2. 記念行事**(1) 記念シンポジウム1****「京都から学ぶこと—歴史からの創造」**

建築家にとって、伝統とは歴史への挑戦の堆積を意味するだろう。近年、京都では近代建築のリノベーションが盛んに行われ、つぎつぎと新しい施設に生まれ変わっている。また町家も、様々な改修の工夫によって新しい命が吹き込まれている。京都の歴史をあらたに解釈した建築家に、京都から学んだこと、京都の新たな展望について語っていただく。

申込先：大会ホームページより事前申込み

日時：9月13日（水）15:00～17:00（14:30受付・開場）

会場：京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール

定員：300名（会員および一般市民、入場無料）+オンライン参加

登壇者：香山壽夫（建築家、東京大学名誉教授）

北山恒（建築家、横浜国立大学名誉教授）

ナビゲータ：岸和郎（建築家、京都大学名誉教授）

進行：田路貴浩（京都大学）

(2) 記念シンポジウム2**「京都の文化財と災害—関東大震災からの学び—」**

関東大震災では地震の揺れ、火災により大きな被害が発生し文化財の被害も発生した。京都が地震に見舞われると、文化財にも大きな被害が発生することが予想される。多くの文化財が存在する京都で関東大震災から100年という節目となる年に、文化財の防災対策について総合的な視点から考えてみたい。

申込先：大会ホームページより事前申込み

日時：9月14日（木）14:00～17:30（13:30受付・開場）

会場：京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール

定員：300名（会員および一般市民、入場無料）+オンライン参加

登壇者：後藤治（工学院大学）

林康裕（舞鶴工業高等専門学校）

長谷見雄二（早稲田大学名誉教授）

大月敏雄（東京大学）

進行：五十田博（京都大学）・牧紀男（京都大学）

(3) 記念シンポジウム3+新キャンパス見学会**「創造都市・京都の拠点エリアの創生～京都市立芸術大学・京都市立美術工芸高等学校の新キャンパスをめぐって～」**

京都市立芸術大学及び京都市立美術工芸高等学校（旧京都市立銅

駝美術工芸高等学校)は、建学以来140年にわたり、文化芸術の発展に貢献してきた教育機関である。京都市では、両校が世界に向けてより一層の発展を果たすため、京都の玄関口である京都駅東部へ移転整備し、京都駅周辺のまちづくりを更に推進するとともに、「世界の文化首都・京都」としての都市格向上、文化による社会・経済の活性化、「創造都市・京都」の拠点エリアの創生等を目指すリーディングプロジェクトを推進してきた。

このほど新キャンパスが完成した機会を捉えて、その見学会を実施するとともに、歴史を継承しつつ未来を拓くまちなようなキャンパスの空間・景観・環境のあり方、産業や文化の息づく創造都市における大学・高校の役割、次の時代の文化芸術都市を担う創造的人材の育成などに関する革新的な取り組みについて議論するシンポジウムを開催する。

申込先：大会ホームページより事前申込み

※ 設計：京都市立芸術大学及び京都市立銅駝美術工芸高等学校移転整備工事 乾・RING・フジワラボ・o+h・吉村設計共同体（以下、「設計JV」と表記）

※ 協力：京都市立芸術大学、京都市立美術工芸高等学校、京都市、京都市教育委員会

■記念シンポジウム

日時：9月15日（金）14:00～16:00（13:30受付・開場）

会場：京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール

定員：300名（会員および一般市民、入場無料）+オンライン参加

登壇者：乾久美子（乾久美子建築設計事務所、設計JV代表、横浜国立大学教授）

佐々木雅幸（大阪市立大学名誉教授）

門川大作（京都市長）

赤松玉女（京都市立芸術大学学長）

コーディネータ：門内輝行（大阪芸術大学教授、京都大学名誉教授）

■新キャンパス見学会

日時：9月15日（金）10:00～11:30（9:30受付）

場所：京都市立芸術大学、京都市立美術工芸高等学校

定員：240名（会員および一般市民）

解説者：郷野正広（RING ARCHITECTS）

上條美枝（RING ARCHITECTS）

藤原徹平（フジワラテッペイアーキテクトラボ）

百田有希（大西麻貴+百田有希/o+h）

大西麻貴（大西麻貴+百田有希/o+h）

黒田弘毅（大西麻貴+百田有希/o+h）

奥田優人（RING ARCHITECTS）

川見拓也（川見拓也建築設計事務所）

大藤尚生（乾久美子建築設計事務所）

堀江優太（未来図工）

堀賢太（堀賢太建築設計事務所）

中原春生（吉村建築事務所）

※ 見学会の解説者は、いずれも設計JVのメンバーである。

(4) 見学会1

「国宝・妙法院庫裏保存修理現場」

妙法院庫裏は内部小屋組のすぐれた構架やその他の意匠に桃山時代の宏大な気風がよくあらわれており、国宝に指定されている。前回の修理から102年が経過して始まった、半解体修理の現場を見学する。

申込先：大会ホームページより事前申込み

見学場所：妙法院庫裏（京都市東山区妙法院前側町）

日時：9月15日（金）第1回9:30～10:30・第2回11:00～12:00

集合場所：妙法院庫裏前

定員：各回20名（会員のみ、要事前申込・先着順）

解説：五十田博（京都大学）

引間俊彰（京都府文化財保護課）

参加費：無料

(5) 見学会2

「IoTビル自社社屋で実証検証／晶和電気工業株式会社」

安全・省エネ・快適性を可能にするのは電気。最新の制御システムの実証実践企業の見学会。「多様性を柔軟に許容できる建築」というコンセプトの中で木質版WOOD.ALCを採用した外観も注目。

申込先：大会ホームページより事前申込み

見学場所：晶和電気工業株式会社（京都市南区西九条菅田町3-1）

日時：9月15日（金）第1回14:00～15:15・第2回15:30～16:45

集合場所：晶和電気工業株式会社

定員：各回20名（会員のみ、要事前申込・先着順）

解説：五十田博（京都大学）

片岡英和（大阪産業大学）

参加費：無料

協力：一般社団法人日本WOOD.ALC協会、辻井木材株式会社（会員企業）

(6) 見学会3

「衣笠山の家+旧本野精吾邸」

京都の戦前と戦後のモダニズムを代表する2つの建物、旧本野精吾邸（本野精吾設計／1924年竣工）と「衣笠山の家」（小林邸／増田友也設計／1964年竣工）を巡る見学ツアー。旧本野精吾邸は、「鎮ブロック」をむき出しに用いた我が国最初期のモダニズム建築。「衣笠山の家」は、ル・コルビュジエのサヴォア邸を思わせる建物。二人のプロフェッサー・アーキテクトによるモダニズム住宅を見学する。

申込先：大会ホームページより事前申込み

見学場所：①衣笠山の家（京都市北区衣笠衣笠山町7）

②旧本野精吾邸（京都市北区等持院北町58）

日時：9月14日（木）14:00～16:30

集合場所：京都市営バス「立命館大学前」バス停

定員：30名（会員のみ、要事前申込・先着順）

解説：木村吉成（木村松本建築設計事務所主宰）

玉田浩之（大手前大学教授）

笠原一人（京都工芸繊維大学助教）

参加費：各建物につき一般1,000円、学生500円

3. 開会式

日時：9月12日（火）8:45～9:00

会場：オンライン

4. 閉会式

日時：9月15日（金）17:00～17:15

会場：京都大学

5. 大会懇親会（有料）

懇親会は、京都大学百周年時計台記念館を会場として、大会2日目に開催されます。会場は武田五一の設計により1925年に誕生し、2003年に免震構法を取り入れて外観や内装の雰囲気はそのままに再生された建物です。4年ぶりの開催となる大会懇親会を、多くの関係者と親交を深めていただく機会にいたしたく、お誘いあわせの上、ふるってご参集ください。京都らしい華やかなアトラクションも用意しており、会員の方々の楽しい交流の場といたします。

日時：9月13日（水）18:00～19:30（受付17:20～）

会場：京都大学百周年時計台記念館

2階「国際交流ホール」

会費（税込み）：

事前会費（2023年8月18日（金）まで）

一般：7,000円／学生（大学院・学部・高等等）：6,000円

当日会費（2023年8月19日（土）以降、当日まで）

一般：9,000円／学生（大学院・学部・高等等）：8,000円

申込先：大会ホームページ <http://taikai.aij.or.jp/2023/>

注意事項：感染症対策は、事前に大会ホームページ等で連絡いたします。

問合せ先：株式会社 JTB 西日本 MICE 事業部

「2023年度 日本建築学会大会（近畿）」係

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTBビル6階

TEL：06-6210-5405 E-mail：aij2023@jtb.com

営業日・営業時間：月曜日～金曜日9:30～17:30

※土・日・祝日は休業

6. 昼食弁当

会場内の食事場所に限りがあるため、昼食時間の混雑が予想されます。参加者の便宜を図るため、事前申し込みのお弁当を準備いたします。お弁当は大会ホームページからの予約販売のみとし、当日の販売はいたしませんのでご注意ください。

申込先：大会ホームページ <http://taikai.aij.or.jp/2023/>

申込締切：大会ホームページに記載

配布日時：9月13日（水）・14日（木）・15日（金）11:00-13:30

配布場所：吉田食堂（京都大学吉田キャンパス吉田南構内）

お弁当の購入者は吉田食堂でお弁当を召し上がっていただけます。なお、大会期間中、吉田食堂はお弁当の購入者の専用となります。

問合せ先：株式会社 JTB 西日本 MICE 事業部

「2023年度 日本建築学会大会（近畿）」係

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTBビル6階

TEL：06-6210-5405

E-mail：aij2023@jtb.com

営業日・営業時間：月曜日～金曜日9:30～17:30

※土・日・祝日は休業

7. 宿泊予約

参加者向けの宿泊予約のご案内は、大会ホームページに掲載いたします。

大会ホームページ：<http://taikai.aij.or.jp/2023/>

8. 研究協議会・研究懇談会・パネルディスカッション

9月12日（火）【オンライン（Zoom）開催】

<午前>

- ・ 構造（応用力学）：偶発作用のハザード評価とリスクマネジメント
- ・ 構造（荷重）：荷重指針2025改定に向けて—雪荷重の評価方法と屋根上積雪荷重の設定方法
- ・ 構造（木質構造）：木質構造における制振技術の方向性
- ・ 構造（鋼構造）：変形性能を陽に反映した耐震設計法の進化—鋼構造塑性設計指針の改定に向けて
- ・ 構造（RC構造）：現場打ち同等型プレキャストはほんとうに現場打ちと同等なのか？
- ・ 構造（PC構造）：PC構造が拓く建築デザインの可能性と将来展望
- ・ 建築計画：文化財になった住宅団地の保存と活用—UR旧赤羽台団地の経験を通して「現地」で考える
- ・ 都市計画：次の災害対策・復興を実現するには—新・復興とは
- ・ 建築社会システム：持続可能性のためのガバナンスの実効性を上げるには
- ・ 建築歴史・意匠：歴史的建築データベースのこれまでとこれから
- ・ 建築教育：防災教育の進化・体系化をめざして—発段階に応じた

た教育目標の明確化

- ・ 地球環境：「聴竹居」から学ぶ日本の季節を味わう住みこなし術
- ・ 地球環境：アジアのカーボンニュートラル実現と建築の役割
- ・ 男女共同参画：「バリテ」で考える、これからのワークライフバランス

<午後>

- ・ 材料施工：JASS10（プレキャスト鉄筋コンクリート工事）改定にむけて
- ・ 構造（基礎構造）：合理的な小規模建築物基礎の設計とは—小規模建築物基礎設計指針の改定に向けて
- ・ 構造（シェル・空間構造）：新しい離散的な曲面の幾何学と空間構造—数学・諸分野と共に拓く
- ・ 構造（振動）：過去の地震からの学び（研究）を活かすために—観測や被害原因の分析と設計への展開
- ・ 構造（原子力建築）：原子力施設における建築物の耐震性能評価手法の現状と今後の展開
- ・ 防火：木質部材の耐火性能評価技術の今を知る
- ・ 建築計画：建築計画学の国際化に向けた戦略2—実践編
- ・ 農村計画：海際から描く、くらしの教養—生活・生業・技術・文化
- ・ 都市計画：グローバル時代の景観デザイン
- ・ 建築社会システム：安心安全の建築企画—続編
- ・ 建築歴史・意匠：民家研究の新視点
- ・ 特別研究：宇宙居住に向けた研究開発の現状と課題
- ・ 特別研究：若手研究者による「復興」再考—多元性の理解に向けて

9月13日（水）【対面開催】

<午前>

- ・ 総合：建築の新常識—関東大震災100周年*
- ・ 建築歴史・意匠：建築論の問題群×思索と制作—増田友也の風景論とその現代性
- ・ 地球環境：人新世時代における気候変動への建築・都市・地域の応答
- ・ 災害：関東大震災の記録を振り返る／トルコ・シリア地震緊急調査報告

<午後>

- ・ 防火：避難安全のバリアフリーデザイン
- ・ 都市計画：いま、都市に関するプランの役割と機能を考える
- ・ 情報システム技術：G空間社会の成立と防災における情報活用の未来

9月14日（木）【対面開催】

<午前>

- ・ 総合：持続可能な建築・まちづくりのための建築学会SDGsアクション*
- ・ 構造：関東大震災から100年—過去を振り返り、先達に聞き、学びそして将来を展望する
- ・ 農村計画：減災思考と実践—豪雨被災を乗り越える集住のレジリエンス
- ・ 海洋建築：関東地震津波の隠された教訓

<午後>

- ・ 材料施工：鉄筋コンクリート造建築物の限界状態再考—次世代の耐久設計
- ・ 環境工学：コロナ危機がもたらす建築環境工学の新たな展開
- ・ 特別研究：原発事故による長期的放射能影響への対策のための建築学会提言案

9月15日（金）【対面開催】

<午前>

- ・ 総合：建築分野の脱炭素化を実現するための課題と展望*
- ・ 建築計画：コロナが迫った建築計画の変革

- ・ 建築法制：水害リスクを踏まえた建築・土地利用規制のあり方

<午後>

- ・ 建築社会システム：マンションは負資産か？!

*はハイブリッド開催

9. 表彰式

(1) 2023年度支部共通事業日本建築学会設計競技

「環境と建築」公開審査・表彰式（全国入選）

日時：9月13日（水）9:15～14:15（公開審査）、

15:30～16:15（表彰式）

会場：京都大学（総合研究8号館NSホール）

全国審査員

委員長：妹島和世（妹島和世建築設計事務所主宰）

委員：石塚和彦（石塚和彦アトリエ一級建築士事務所代表）、畑江未央（日本設計建築設計群）、平田晃久（京都大学教授）、藤村龍至（東京藝術大学准教授）、吉村真基（吉村真基建築計画事務所代表）、渡辺菊真（高知工科大学准教授）

(2) 2023年度日本建築学会技術部門設計競技

「カーボンニュートラル社会を実現する「新しい」環境建築コンセプト」表彰式

日時：9月14日（木）13:00～13:30

会場：京都大学（法経済学部本館1階第7教室）

(3) 2023年日本建築学会奨励賞贈呈式

2023年日本建築学会優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞表彰式

日時：9月13日（水）13:30～15:00

会場：京都大学百周年時計台記念館2階「国際交流ホール」

(4) 2023年日本建築学会作品選集新人賞

受賞者記念講演・表彰式

日時：9月14日（木）14:30～17:00

会場：京都大学（工学部物理系校舎物理系313室）

(5) 建築作品展

日時：9月13日（水）～15日（金）9:30～16:30（最終入館16:00）

会場：京都大学（総合博物館）

展示：2023年日本建築学会賞（作品・技術・業績）

2023年日本建築学会教育賞（教育貢献）

2023年日本建築学会作品選奨

2023年度日本建築学会設計競技全国入選

2023年度日本建築学会技術部門設計競技入選

2023年日本建築学会優秀卒業論文・優秀修士論文賞

2023年度全国大学・高専卒業設計

10. 関連行事

(1) 近畿支部見学会①

「竹中大工道具館」（解説付き）

日時：9月12日（火）第1回13:00～14:30、第2回15:00～16:30

集合場所：竹中大工道具館（神戸市中央区熊内町7-5-1）

定員：各15名

参加費：無料

詳細：近畿支部ホームページに掲載

申込：6月1日（木）より受付開始

協力：竹中大工道具館

(2) 近畿支部見学会②

「天満・中崎町・茶屋町界隈をめぐる大阪建築今昔ツアー」

日時：9月12日（火）14:00～

集合場所：大阪市立住まい情報センター（大阪北区天神橋6-4-20）

参加費：無料

詳細：近畿支部ホームページに掲載

申込：6月1日（木）より受付開始

(3) 京都大学建築学科学生展

京都大学建築学科の設計演習の作品を、普段講評会を行っているギャラリーにて展示します。

日時：9月13日（水）～9月15日（金）（最終日は昼まで）

場所：京都大学吉田キャンパス本部構内

総合研究9号館北棟4階ギャラリー

入場料：無料

担当：田路貴浩（京都大学）、安田溪（京都大学）

(4) 太閤坦に建てられた近代住宅の記録展示と旧吉田邸（現京都女子大学生生活デザイン研究所）見学

京都女子大学のある京都東山の一郭は太閤坦と呼ばれ、大正から昭和初期には高級住宅建築が数多く建てられた。本企画では解体された住宅の記録と、現存する昭和初期住宅の見学を実施する。

日時：9月16日（土）、17日（日）（予定）

会場：京都女子大学

定員：60名（各日2回（午前・午後）、各回15名）事前申込み有

参加費：無料

問合せ・申込先：京都女子大学家政学部生活造形学科空間造形領域

E-mail：kyojo.kukan@gmail.com

講演者・登壇者：未定

(5) Future Landscape in Kyoto and Zürich

世界規模で進む劇的な気候変動を前に、都市環境・ランドスケープのデザインはいかに更新可能なのだろうか。3Dスキャン技術により自然環境を捉え、未来に歴史を接続する景観研究の最前線を拓くシンポジウム。

日時：2023年9月16日（土）午後（予定）

会場：京都工芸繊維大学60周年記念館

定員：100名（予約不要）

参加費：無料

講演者・登壇者：クリストフ・ジロー（スイス連邦工科大学チューリッヒ校名誉教授）

小野芳朗（京都工芸繊維大学名誉教授）

中嶋節子（京都大学教授）

木内俊克（京都工芸繊維大学特任准教授）

(6) 2023年度学生と地域との連携によるシャレットワークショップ「甲賀市水口宿のまちづくりデザインを考える」

主催：住まい・まちづくり支援建築会議

ワークショップ期間：9月6日（水）～10日（日）※11日（月）午前解散

会場：甲賀市内を予定

作品展示：9月13日（水）～15日（金）（予定）

講評会会場：京都大学

講師：野原卓（横浜国立大学）、阿部俊彦（立命館大学）、泉山壘威（日本大学）、岡絵理子（関西大学）、北原啓司（弘前大学）、黒瀬武史（九州大学）、小林剛士（山口大学）、小林正美（明治大学）、高橋潤（アルケメディア設計研究所）、野澤康（工学院大学）、野嶋慎二（福井大学）、三輪律江（横浜国立大学）、藪谷祐介

(富山大学) (以上、教育・普及部会、ほか特別講師数名を予定)
ワークショップ参加費：10,000円(宿泊費は別途)
申込締切：8月10日(木)
問合せ・申込先：taki210@yamaguchi-u.ac.jp(運営事務局小林宛)

(7) 子ども教育支援建築会議

「楽々建築・楽々都市@京都―特別開催 おてら児童館―」
主催：子ども教育支援建築会議
日時：9月16日(土)午後
会場：百万遍知恩寺・大方丈
(京都市左京区田中門前町103、京都大学吉田キャンパスより徒歩約8分)

(8) 第12回司法支援建築会議建築紛争フォーラム

「近畿地域における建築紛争の現状と課題」
日時：9月14日(木)13:30～16:55
会場：京都教育文化センターホール
(京都市左京区聖護院川原町4-13)
参加費：無料
詳細：6月号p.89および本会Webページ「催し物・公募」欄をご覧ください。

(9) 学生による語り合いのシンポジオン2023

学生諸君は「日々の日常活動を大切に」と考え、まちづくり、住まいづくり、種々ボランティアなど、旺盛なチャレンジ精神で主体的かつ精力的に活動しています。

シンポジオンでは、そうした学生諸君の活動について話題提供の場を設け、語り合いと自由討議により参加者全員で交流いたします。

日時：9月13日(水)13:30～16:00

会場：オンラインZoom

※オンライン関連情報は参加申し込みいただいた後に連絡します

定員：100名(申込先着順)

内容：話題提供学生による活動プレゼンテーションおよび自由討議

参加には二種類あります。

A. 話題提供に参加(学生) B. 交流として参加(学生・職業人・市民)

◆A. 話題提供(学生チーム)

地域を特定せず、大学・短大・高専等から5～10チーム程を募集いたします。近畿地域以外のチームも大歓迎です。

件名に「建築学会大会シンポジオン話題提供申込み」と明記して、下記の項目を記入の上、E-mailでお申し込みいただけます。なお、チームは複数名で構成いただければ幸いです。

- 1) 学校名、所属
- 2) 代表学生氏名(会員・会員外問わず学部生も大歓迎)
- 3) 代表学生連絡先(住所、電話、E-mailアドレス)
- 4) アドバイザー教員(窓口教員)の氏名と所属
- 5) テーマ(内容が具体的に分かるようにサブテーマも可)

申込締切：9月3日(日)19:00

◆B. 交流としての参加(学生・職業人・市民)

話題提供はせず、話題提供学生と自由に語り交流をお願いします。

問合せ・申込先：粟原知子(福井大学)

E-mail:tawahara@u-fukui.ac.jp TEL:0766-27-9967(研究室直通)

11. 付随行事

(1) 第35回懇親テニス大会

コロナ禍の影響で3年間開催が延期されてきましたが、今年度は学術講演会が対面での実施になったことから、下記によりテニス大会を開催することになりました。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

主催：日本建築学会テニス同好会

会長：斎藤公男(日本大学名誉教授)

副会長：上和田茂(九州産業大学教授)

副会長：吉田倬郎(工学院大学名誉教授)

日時：9月11日(月)12:00～16:00

場所：京都東山テニスクラブ(屋外2面を予定)

(京都市山科区西野山岩ヶ谷27)

TEL:075-594-3260 FAX:075-594-3243

https://www.higashiyama-tc.com/rental_coat.html

交通：JR京都駅・京阪七条駅よりタクシーで約10～15分

参加人数：20名(予定)

試合形式：チーム対抗方式を前提とし、各試合ペア組み替えによる対戦。
懇親会：大会終了後、総会と懇親会(17:00～19:00)を開催いたします。

参加費用：5,000円(予定)、参加費(テニスコートレンタル料、ボール代、賞品代)

その他費用は、原則各自払いとします。

申込み：E-mailにて件名を「テニス大会申込み」と標記のうえ、1.氏名、2.住所、3.所属、4.連絡先(TEL、携帯、E-mail)、5.懇親会への参加の有無をお知らせください。

締切：7月7日(金)※お早めにお申し込みください。お申し込みいただいた方には、追って詳細な案内をお届けいたします。

申込先：日本建築学会テニス同好会 幹事

中西三和(日本大学上席研究員)

E-mail:nakanishi.mitsukazu@nihon-u.ac.jp

TEL:090-7259-3560

(2) 第35回懇親ゴルフ大会

本会ゴルフ同好会では、同好の士が交流を深めることを目的として大会時に懇親ゴルフ大会を開催しております。コロナ禍で4年ぶりの実施となりますが、同好会の皆さまほか多くの方のご参加をお待ちしております。

主催：日本建築学会ゴルフ同好会

会長：勅使川原正臣(中部大学)

京都幹事：五十田博(京都大学)

東京幹事：宮下真一(東急建設)、板橋靖(東急建設)

1) 日時：2023年9月16日(土)

2) コース：瀬田ゴルフコース・西コース(〒520-2125 滋賀県大津市瀬田橋本町12、TEL 077-544-1111)

<https://www.princehotels.co.jp/golf/seta/>

3) スタート時間：8:35西コースIN(予定)

4) プレー費：24,000円(セルフプレー、昼食付)

5) 定員：4組/16名(申込み先着順)

6) 参加費：4,000円(賞品代、懇親パーティー代他)

7) 競技方法：18ホールストロークプレー、ダブルペリア方式(同ネットの場合は、ハンディ、年齢順)

8) 表彰式：プレー終了後、レストランにて表彰式を行います。

9) 申込締切：9月1日(金)下記担当者宛

10) 申込方法：E-mailで、「ゴルフ大会申込み」と表記のうえ、1.氏名、2.生年月日、3.所属、4.連絡先(TEL、FAX、E-mail)を明記して下記にお申し込みください。

申込者には9月上旬に集合時間等、当日の詳細なお案内をいたします。

11) 申込先：東京幹事 東急建設(株)技術統括部 建築技術部 板橋靖

E-mail: itabashi.yasushi@tokyu-cnst.co.jp

2023年度 日本建築学会大会[近畿] 京都大学 吉田キャンパス案内図



- 会場内では参加票を必ず身に着けてください。
- 会場内では私物の管理に心がけてください。荷物預かりはありません。
- 事前申込のお弁当は、「吉田南食堂」にてお受け取りください。
- お困りの事等がありましたら、ユニフォームを着ているスタッフにお申し付けください。

施設・設備案内

- 総合受付** 吉田南構内 吉田南総合館 1階
- バス乗降所** 京大正門前(東大路)、百万遍
- 食堂・レストラン**
 - 吉田南
 - ・吉田南食堂
 - 本部
 - ・カフェレストラン「カンフォーラ」
 - ・レストラン「ラ・トゥール」(百周年時計台記念館 1階)
 - ・カフェ「タリーズコーヒー 京都大学時計台店」(百周年時計台記念館 地階北側)
 - ・中央食堂(総合研究8号 地階)
- 売店**
 - 吉田南
 - ・生協店舗
 - 本部
 - ・生協店舗(百周年時計台記念館 地階)
 - ・京大ショップ(百周年時計台記念館 1階)
 - ・ミュージアムショップ(総合博物館 1階)

1 吉田南総合館

- 総合受付
- 学術講演会
- 構造
- 環境工学
- 建築歴史・意匠

2 吉田南1号館

- 学術講演会
- 環境工学

3 吉田南4号館

- 学術講演会
- 材料施工
- 防火
- 都市計画
- 海洋建築
- 教育

4 吉田南総合図書館

- 関連行事
- シャレットワークショップ作品展示

5 吉田南食堂

6 百周年時計台記念館

- 記念シンポジウム
- 総合研究協議会
- 奨励賞贈呈式
- 優秀卒論/修士論文賞表彰式
- 懇親会

7 法経済学部本館

- 研究協議会
- 材料施工
- 構造
- 環境工学

- 建築計画
- 農村計画
- 都市計画
- 建築社会システム
- 建築歴史・意匠
- 情報システム技術
- 建築法制
- 地球環境
- 技術部門設計競技表彰式

8 総合研究3号館

- 研究協議会
- 防火
- 海洋建築
- 災害
- 特別研究

9 総合研究8号館

- 設計競技公開審査・表彰式

10 工学部物理系校舎

- 学術講演会
- 建築計画
- 建築デザイン発表会
- 作品選集新人賞講演・表彰式

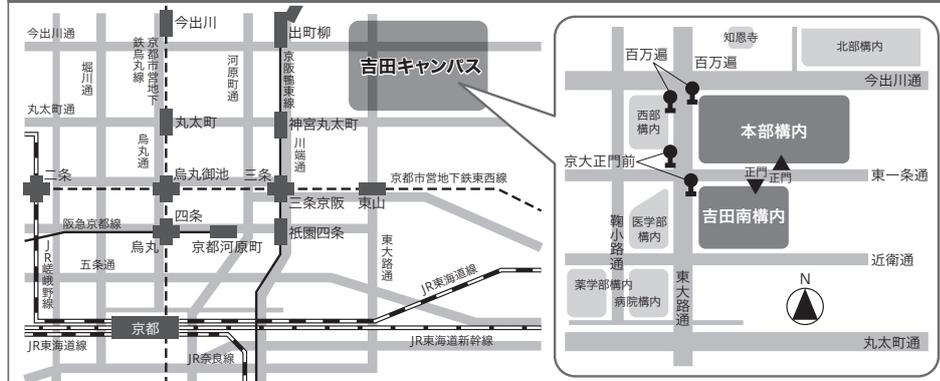
11 総合研究9号館

- 学術講演会
- 農村計画
- 建築社会システム
- 情報システム技術
- 関連行事
- 京都大学建築学科設計演習展示

12 総合博物館

- 建築作品展

交通アクセスマップ





2023年度日本建築学会大会（近畿）では 大会マイページでの参加手続きが必要です

大会専用マイページ（以下、大会マイページ）のログインにはIDおよびパスワードが必要です。

講演発表者／共同発表者

6月8日にログイン用のID・パスワードをメールで通知しております。

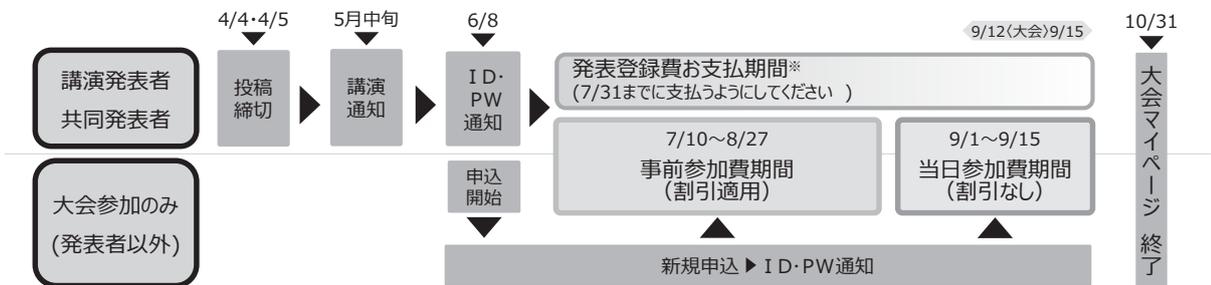
大会参加のみ（発表者以外）

新規申込みの手続きを行い、ログイン用のID・パスワードを取得してください。

大会マイページの主な機能

- 発表登録費・参加費の支払い（クレジットカード決済またはコンビニ決済のみ）
- 請求書・領収書のダウンロード発行
- 対面会場の参加用QRコードの発行、オンライン会場への入場 参加費をお支払いされた方のみ
- 梗概集の閲覧・ダウンロード（DVD版は廃止） 発表登録費をお支払いされた方のみ

○大会参加手続きの流れ



※発表登録費を7月31日までにお支払いいただくと、8月10日に大会マイページから梗概集を閲覧・ダウンロードいただけます。
注）大会会場では支払い用の窓口は設けられませんので、上記の流れに沿って、お手続きください。

○費用について（7/10から支払い開始）

- ・発表登録費：梗概の投稿のための費用（講演発表者、共同発表者ともに納入必須）（建築雑誌1月号 p.52/60 表-1参照）。
- ・大会参加費：大会会場（京都大学・オンライン）への入場のための費用（表2参照）。

表1 費用の種類

	発表登録費	参加費
梗概の投稿	○	×
梗概集アクセス権 (閲覧・ダウンロード)	○	×
大会会場への入場 (京都大学・オンライン)	×	○

※大会参加のみの方で、梗概集へのアクセス権をご希望の場合は、こちらから詳細をご確認ください。▶▶▶▶▶▶



表2 参加費一覧

区分	事前参加費（割引適用） 支払期間：7/10～8/27	当日参加費 支払期間：9/1～9/15
名誉会員	0円	0円
正会員 一般	5,000円	7,000円
正会員 大学院生（学生証提示）	3,000円	4,000円
準会員（学生証提示）	0円	0円
会員外 一般	8,000円	10,000円
会員外 大学院生（学生証提示）	4,000円	5,000円
会員外 学部学生等（学生証提示）	0円	0円

事前参加費の支払期間内にお支払いが完了しないと割引は適用されませんので、ご注意ください。

○大会参加方法（会期：2023年9月12日～15日）

- ・9月12日のオンライン会場：大会マイページ上の「オンライン会場」ボタンから入場できます。
- ・9月13日～15日の対面会場（京都大学吉田キャンパス）：大会マイページ上に表示されるQRコードを会場受付でご提示ください。参加票・ケースをお渡しいたします。

○梗概集のオンライン化

- ・梗概集はDVD版を廃止し、オンライン上で閲覧・ダウンロードする方式になります。
- ・7月31日までに発表登録費をお支払いいただくと、8月10日に大会マイページから梗概集を閲覧・ダウンロードいただけます。

問合せ 日本建築学会 総務グループ会員担当 Mail：2023sankahi@aij.or.jp TEL：03-3456-2055（受付時間：平日9:15～17:30）
大会の最新情報は、本会Webページのトップページ右側メニュー「2023年度日本建築学会大会（近畿）」からご確認ください。▶▶▶



学術講演会・建築デザイン発表会 研究協議会・研究懇談会・パネルディスカッション 一覧

会場：オンライン (Zoom ミーティング)

部門	研究集会 1	研究集会 2	研究集会 3	研究集会 4	研究集会 5	研究集会 6	研究集会 7	研究集会 8	
室名	第 A 室	第 B 室	第 C 室	第 D 室	第 E 室	第 F 室	第 G 室	第 H 室	
< 8:45 > 開会式 (第 Z 室)									
9月12日 (火)	9:00 ~ 12:30	構造 (応用力学) PD	学会賞講演 構造 (荷重) PD	構造 (木質構造) PD	学会賞講演 構造 (鋼構造) PD	学会賞講演 構造 (RC 構造) PD	構造 (PC 構造) PD	都市計画 PD	建築計画 PD (1)
	13:30 ~ 17:00	材料施工 PD	構造 (基礎構造) PD	構造 (シェル・空間構造) PD	構造 (振動) PD	構造 (原子力建築) PD	農村計画 研懇	都市計画 研懇	建築計画 PD (2)

会場：京都大学

棟	百周年時計台記念館	法経済学部本館			総合研究 3 号館	工学部物理系校舎			
部門	研究集会 15	研究集会 16	研究集会 17	研究集会 18	建築計画 1	建築計画 2	建築計画 3	建築計画 4	
室名	百周年記念ホール	第 4 教室	第 7 教室	共通 155 室	物理系 101 室	物理系 112 室	物理系 212 室	物理系 213 室	
定員	500	500	400	254	83	64	60	60	
9月13日 (水)	9:00 ~ 12:30	10:00 ~ 13:30 総合研協 (関東大震災)	建築 歴史・意匠 研協	地球環境 研協	災 害 研協	5001 ~ 5015 ワークプレイス / 【OS】拡張するワークプレイス・ワークスタイル	5099 ~ 5121 大学、高専 / 不登校・塾・学校統廃合 / 特別支援	5204 ~ 5227 博物館・美術館 / 劇場・ホール	5313 ~ 5334 もの・場所を通じたコミュニティ / 活動とコミュニティ / コミュニティ計画 / 職能・制度
	13:30 ~ 17:00	15:00 ~ 17:00 記念 シンポジウム (1)	都市計画 研協	情報 システム技術 研協	防 火 研協	5016 ~ 5036 ワークプレイス / 商業・業務施設	5122 ~ 5138 小中学校の教育環境 / COVID-19・複合・海外の教育施設 / 学校の内諸スペース	5228 ~ 5251 劇場・ホール / 集会・コミュニティ施設 / 地域施設の転用の試み / 複合化施設の空間評価	5335 ~ 5353 建築論 / 作家論 / 形態論 / 設計プロセス
9月14日 (木)	9:00 ~ 12:30	10:00 ~ 13:00 総合研協 (SDGs)	構 造 研協	農村計画 研協	海洋建築 研協	5037 ~ 5060 障害者施設 / 認知症高齢者グループホーム・高齢者居住・入所施設 / 地域包括・共生社会	5139 ~ 5161 医療施設	5252 ~ 5270 改修と構法 / 建材流通・リユース / 木材利用	5354 ~ 5379 設計・分析手法 / 多様な再生方法 / 高齢者・障がい者等と住環境ほか
	13:30 ~ 17:00	14:00 ~ 17:30 記念 シンポジウム (2)	学会賞講演 材料施工 研協	表彰式 13:00 ~ 13:30 (技術部門 設計競技) 学会賞講演 環境工学 研協	特別研究 (原発長期災害) 研協	5061 ~ 5080 高齢者居住支援、通所介護施設 / 学童施設 / 子育て支援施設 / 遊び場	5162 ~ 5185 図書館・社会教育施設 / 地域施設 設計計画論	5271 ~ 5288 構法開発 / 構法史 / 外表・ファサード	5380 ~ 5399 高齢年住宅地の生活 / 住宅内での仕事・学習 / 子ども部屋の活用 / 家族の変化と住宅の使い方
9月15日 (金)	9:00 ~ 12:30	10:00 ~ 13:00 総合研協 (脱炭素)	学会賞講演 建築計画 研協	建築法制 研協					
	13:30 ~ 17:00	14:00 ~ 16:00 記念 シンポジウム (3)	建築社会 システム 研協			5081 ~ 5098 社会的養護・保育施設 / 児童養護施設 / 乳児院 / 幼稚園・保育施設	5186 ~ 5203 地域の様態と地域の施設	5289 ~ 5312 地域の木造構法 / 自然素材と構法	5400 ~ 5423 集住の暮らし / セルフビルド / リノベーション / 政策における構法・生産 / 空間の概念と評価
< 17:00 > 閉会式 (百周年時計台記念館会議室Ⅲ)									

[注] 研協：研究協議会、研懇：研究懇談会、PD：パネルディスカッション、学会賞講演：2023年学会賞(論文)受賞者記念講演、新人賞講演：2023年作品選集新人賞受賞者記念講演、

会場：オンライン (Zoom ミーティング)

	研究集会 9	研究集会 10	研究集会 11	研究集会 12	研究集会 13	研究集会 14
	第 I 室	第 J 室	第 K 室	第 L 室	第 M 室	第 N 室
9月12日 (火)	< 8:45 > 開会式 (第 Z 室)					
	建築 歴史・意匠 PD(1)	教 育 研 懇	建築社会 システム PD(1)	地球環境 PD(1)	男女共同参画 PD	地球環境 PD(2)
	建築 歴史・意匠 PD(2)	防 火 PD	建築社会 システム PD(2)	特別研究 (宇宙居住) PD	特別研究 (復興再考) PD	

会場：京都大学

		工学部物理系校舎					総合研究 9 号館			
		建築計画 5	建築計画 6	建築計画 7 / 建築デザイン A	建築デザイン B	建築デザイン C	農村計画	情報 システム技術 1	建築社会システム 1 / 情報システム技術 2	建築社会 システム 2
		物理系 216 室	物理系 312 室	物理系 313 室	物理系 314 室	物理系 315 室	W1 室	W2 室	W3 室	W4 室
		111	101	175	94	175	86	86	86	77
9月13日 (水)		5424 } 5448 海外の都市住宅 / 居住環境の再建 / 都市空間の形成 / 地域の居住文化	5536 } 5558 オープンスペース・街並み / 都市と認知 / 接道空間 / 施設と視覚	5650 } 5673 建築計画 防犯・こどもの事故 / 避難訓練・災害対策・拠点 / 避難所・地域・自主防災ほか			6001 } 6024 集落空間 / 住様式と住文化 / 公共空間と地域施設	11001 } 11025 GIS・都市 / 防災 / 建築構造 / 建築計画・設計 / 人間科学 / モニタリング・センシング・IoT	8001 } 8025 建築社会システム 建築生産 / 発注・契約 / 材料流通	8075 } 8096 維持管理, 改修 / 防災
		5449 } 5471 住宅地の地域特性 / 中間領域と屋外空間 / 多様な住環境へのアプローチ / 超高層住宅・住宅空間構成	5559 } 5583 民家・集落の空間 / 内部空間の感覚 / VR・仮想空間 / 設計知識・設計情報	5674 } 5695 経路選択行動 / 行動セッティング・ふるまい / 場所づくり / 子ども・個人的行動			6025 } 6048 移住 / 空き家・転出者 / なりわいと起業		8026 } 8049 施工管理 / 技能者・工法 / 教育・技能者	8097 } 8118 ストック特性と活用 / エリアマネジメント / 空き家の対策と活用
9月14日 (木)		5472 } 5495 災害と居住 / コモンスペース / 共同住宅の交流・多様化 / 団地再生	5584 } 5607 設計理論・設計プロセス / 設計手法 / FM・POE・プログラミング	14001 } 14024 建築デザイン文化を発信する建築	14065 } 14088 リノベーション / 教育	14157 } 14172 最適化技術・AIが成し遂げた(る)デザイン: デジタル施工とセルフビルド / シミュレーション / デザイン手法		11026 } 11050 BIM・CAD・設計システム	8050 } 8074 施工支援技術 / 情報化技術 / BIM / VR / DX	8119 } 8138 住宅需要・住生活・住文化 / 居住支援・住宅セーフティネット
		5496 } 5513 コミュニティ形成 / 住宅地の経年変化 / 住宅地の持続可能性	5608 } 5631 滞留・流動 / バリアフリー・ユニバーサルデザイン / 視線・選択行動 / 行動特性	14001 ~ 14024 ディスカッション 14:30 ~ 17:00 新人賞講演・表彰式	14089 } 14112 医療施設 / 住宅 / オフィス・研究所 / 図書館・交流施設	14173 } 14192 建築のお手入れ / まちのお手入れ	6049 } 6060 [OS] 農山漁村に遺された造形、遺し活かす造形	11051 } 11074 AI・機械学習・深層学習・デザイン科学		8139 } 8160 高齢者と住まい / 住まいの安心・安全 / 住宅改修・リフォーム
9月15日 (金)				14025 } 14044 「つくる」 / 「風景」 / 「思い」のプロセスをデザインする	14113 } 14136 地域再生	14193 } 14212 技術の作家性	6061 } 6082 文化遺産と文化的景観 / 集落・自然景観 / 環境との共生 / 地域組織・コミュニティ	11075 } 11097 XR・CG / デジタルファブリケーション・3Dプリンター	11110 } 11134 情報システム技術シミュレーション・最適化 / 点群・デジタルスキニングほか	8161 } 8180 マンション市場 / マンション改修・管理
		5514 } 5535 ハンディキャップ者の暮らし / 視覚支援 / オールジェンダートイレ / 公共トイレ	5632 } 5649 空間特性・利用実態 / 生活環境 / 印象評価	14045 } 14064 二刀流の建築	14137 } 14156 ランドスケープ	14213 } 14235 交通・展示 / 設計方法論	6083 } 6105 生活文化と生活構造の継承・持続 / 都市農村交流と観光 / 防災・災害復興	11098 } 11109 ロボティクス・制御・施工	11135 } 11144 デジタルツイン・DX・FM・データベース	
		< 17:00 > 閉会式 (百周年時計台記念館会議室Ⅲ)								

枠内の数字：講演番号、[OS]：オーガナイズドセッション

会場：京都大学

		吉田南総合館北棟								吉田南総合館東棟
		構造 1	構造 2	構造 3	構造 4	構造 5	構造 6	構造 7	構造 8	構造 9
		共北 25 室	共北 26 室	共北 27 室	共北 28 室	共北 31 室	共北 32 室	共北 37 室	共北 38 室	共東 11 室
		125	125	125	125	125	125	125	125	120
9月13日 (水)	21001 } 21024 振動 内部空間・非構 造/応答評価法	22368 } 22391 鉄骨構造 梁材	22417 } 22437 鉄骨構造 素材特性/柱脚	22527 } 22547 鉄骨構造 ブレース/耐震 壁ほか	23001 } 23020 RC構造 コンクリート/ 鉄筋・継手/付 着・定着	23109 } 23130 RC構造 RC構成則・解 析法/RC梁	22001 } 22025 木質構造 木質部材性能		20180 } 20202 基礎構造 山留め・連続地 中壁/杭：鉛直 ・施工管理	
	21025 } 21049 骨組構造/免震 ・制振	22392 } 22416 梁材/柱材	22438 } 22461 柱梁接合部	22548 } 22566 耐震補強/設計 法、部材リユース、 補修	23021 } 23040 あと施工アンカ ー・スタッド	23131 } 23154 RC梁	22026 } 22050 木質材料特性		20203 } 20227 杭：鉛直・施工 管理	
9月14日 (木)	21050 } 21074 AI、人的被害 /応答推定	21127 } 21151 振動 粘性・粘弾性ダン パー/質量ダン パー	22462 } 22479 柱梁接合部、パ ネル/その他の 接合部	22567 } 22592 引張材、圧縮材、 その他の部材/ 立体骨組	23041 } 23064 RC柱	23155 } 23173 RCスラブ、RC 非構造壁/RC 部材接合	22051 } 22074 接合具	23219 } 23236 RC構造 RC骨組/RC解 析法・免震・制 振ほか	20228 } 20252 小規模建築物基 礎/杭水平・杭 体	
	21075 } 21100 応答推定/損傷 評価手法	21152 } 21177 履歴ダンパー/ 制御性能評価	22480 } 22502 ブレース接合部 /継手、溶接	22593 } 22616 骨組の振動	23065 } 23085 RC柱/RC耐震 壁	23174 } 23195 RC梁柱接合部	22075 } 22100 接合具/伝統構 法構造要素/伝 統構法架構/伝 統構法耐震補強 技術	23237 } 23260 RC基礎・杭・ 杭頭接合部、相 互作用	20253 } 20278 杭水平・杭体/ 既存杭	
9月15日 (金)	21101 } 21126 健全性・被災度 判定/地震観測 ・被害推定/災 害対応・レジリ エンス/調査・ 統計分析	21178 } 21202 制御性能評価	22503 } 22526 高力ボルト/ド リルねじ・リベ ット	22617 } 22635 骨組の振動/平 面骨組、他の 骨組	23086 } 23108 RC耐震壁	23196 } 23218 RC設計・性能 評価	22101 } 22125 伝統構法振動特 性/伝統構法耐 震診断・改修/ 実態調査・被害 調査、水害対策	23261 } 23280 RC耐震診断・ 改修・空間拡大 /RC耐震補強 /RC被害・型 枠・施工法/そ 他のRC構造	20279 } 20300 既存杭	
	< 17:00 > 閉会式（百周年時計台記念館会議室Ⅲ）									

会場：京都大学

		吉田南総合館東棟					吉田南総合館南棟			
		構造 10	構造 11	構造 12	構造 13	構造 14	構造 15	構造 16	構造 17	構造 18
		共東 12 室	共東 21 室	共東 31 室	共東 32 室	共東 41 室	共東 42 室	共南 01 室	共南 11 室	共南 21 室
		80	120	120	120	120	120	154	195	100
9月13日 (水)	20301 } 20320 基礎構造 液状化/動的問題/沈下・支持力/併用基礎	20392 } 20416 シェル・空間構造 シェル構造/立体骨組の静的挙動	22126 } 22148 木質構造 腐朽・蟻害/屋根・床	22248 } 22271 木質構造 実大建物数値解析/CLTパネル工法/柱頭柱脚接合部/モーメント抵抗接合	23281 } 23302 PC構造 アンボンド梁/アンボンド柱・壁/アンボンド架構/接合部/材料・施工、耐震補強	22636 } 22659 SCCS CFT柱/CFT継手・接合部	21203 } 21223 振動 積層ゴム/すべり支承/すべり基礎	21319 } 21344 振動 衝突・緩衝/制動装置/AI活用/調査報告	21427 } 21452 振動 相互作用/超高層/免震・風応答/振動特性・伝達関数	
	20321 } 20342 土の性質・調査/地盤改良	20417 } 20441 膜構造/ケーブル・ハイブリッド構造	22149 } 22172 小規模木造制振/中大規模木造制振/木造免震・伝統木造制振/竹利用ほか	22272 } 22294 モーメント抵抗接合/継手・仕口	20001 } 20019 荷重・信頼性 信頼性、安全性・使用性・設計法/雪荷重	22660 } 22682 鉄骨コンクリート構造/柱脚と免震支承の接合部・FRP合成構造/木質材料を用いた合成構造	21224 } 21248 ダンパー/免震装置	21345 } 21364 トルコ・シリア地震/地震被害評価	21453 } 21478 実大実験/室内空間/観測・解析手法/模型実験	
9月14日 (木)	20343 } 20362 シェル・空間構造 木質空間構造/ガラス・新素材/構造デザイン	20442 } 20459 集客施設の天井・非構造材	22173 } 22196 大規模木造：部材、トラス梁、ラーメン・構造設計、ハイブリッド壁	22295 } 22320 実大静加力実験/振動台実験	20020 } 20043 温度荷重/積灰荷重・津波荷重/その他の荷重/地震荷重	22683 } 22701 合成・混合接合部/すれ止め/合成床・合成梁	21249 } 21271 実大加振試験/津波	21365 } 21385 震源・伝播特性/微動・地盤震動	21479 } 21504 相互作用：実験/応答評価/地盤ばね/杭基礎	
	20363 } 20386 立体骨組/円筒ラチスシェル/置屋根体育館の地震応答	20460 } 20471 [OS] 植物構造 オプト	22197 } 22221 ハイブリッド壁/ハイブリッド部材/ハイブリッド接合部	22321 } 22344 筋かい壁、面材壁	20044 } 20067 風圧力/風荷重・風応答/耐風設計	22702 } 22720 RCS柱梁接合部、その他の接合部ほか/建物の地震時挙動、特徴的な構法の合成構造	21272 } 21295 応答評価	21386 } 21409 表層地盤/サイト増幅特性/深部地盤/地震動予測モデル		
9月15日 (金)	20387 } 20391 立体骨組の塑性化・安定性	20472 } 20487 [OS] 植物構造 オプト/構造形態創生・折り紙・切り紙	22222 } 22247 ハイブリッド構法/CLT工法/ラーメン・部材	22345 } 22367 面材壁/土塗り壁、格子壁・板壁	20068 } 20083 CFD/確率・被害・リスク/実験方法		21296 } 21318 応答評価/風応答/免震システム	21410 } 21426 強震動評価/入力地震動		
<p>< 17:00 > 閉会式 (百周年時計台記念館会議室Ⅲ)</p>										

会場：京都大学

吉田南総合館西棟									
構造 19	建築歴史・意匠 1 ／構造 20	建築歴史・ 意匠 2	建築歴史・ 意匠 3	建築歴史・ 意匠 4	建築歴史・ 意匠 5	環境工学 1	環境工学 2	環境工学 3	
共西 01 室	共西 02 室	共西 03 室	共西 11 室	共西 12 室	共西 21 室	共西 22 室	共西 23 室	共西 31 室	
72	72	72	72	72	72	72	72	135	
9月13日 (水)	20084 } 20106 応用力学・構造解析 応用力学基礎理論／臨界現象・限界状態の力学／数値解析法					40256 } 40278 熱環境 住まいの健康影響／住まいの温熱環境	40353 } 40376 熱環境 ゼロエネルギー建築	40455 } 40479 熱環境 断熱・結露／潜熱蓄熱材／熱容量・熱負荷解析／気象データ	
	20107 } 20130 振動解析法／材料の力学／衝撃解析・設計	9001 } 9024 建築歴史・意匠都市史 東アジア(中国・満州・韓国・台湾)／日本(中世・近世・近代)	9047 } 9059 日本建築史 農家・集落／擬洋風・近代和風	9142 } 9165 日本近代住宅(近代)・産業施設／交通インフラ	9262 } 9285 意匠論 建築形態	9358 } 9375 意匠論 都市空間	40279 } 40298 【OS】多様な温熱環境・睡眠環境と入浴環境／高齢者、保育施設の温熱環境	40377 } 40400 ゼロエネルギー建築／地域の気候と自然エネルギー利用	40480 } 40496 将来気象データ／部材の熱性能評価／断熱性能評価
9月14日 (木)		9025 } 9046 日本(町並み・景観・戦後・現代)／アジア・アフリカ・南米／欧米	9060 } 9083 寺社／技法・大工／町家・町並み	9166 } 9189 オフィス／公共施設・劇場／教会・近代和風／戦後昭和	9286 } 9310 建築メディア	9376 } 9400 活動	40299 } 40322 オフィスの温熱環境／環境行動	40401 } 40419 断熱改修／建築環境の総合評価／住まい方と住環境教育／【OS】身近な環境デザインへの配慮	40497 } 40522 熱環境シミュレーション／住宅の温熱環境
	20131 } 20154 最適化／形状制御／応答制御設計／ロバスト性評価	23303 } 23323 壁式構造・組積造 鉄筋コンクリート組積造／その他の組積造／コンクリートブロック塀ほか	9084 } 9100 町家・町並み／住宅・城郭	9190 } 9213 組織・制度／建築家・建築作品／理念・理論	9311 } 9334 建築メディア／建築構成	9401 } 9412 建築論 原論／思想			
9月15日 (金)	20155 } 20179 最適化による設計法／最適化技術／逆解析・システム同定、構造計画	21505 } 21525 原子カプランド三次元解析／構造設計／耐震設計・耐震解析／SC構造	9101 } 9118 西洋建築史 中近世／18-19世紀 西洋近代 19世紀イギリス	9214 } 9236 記録・史料／日記・書籍／材料／技術・施工		9413 } 9434 東洋建築史 東南アジア／中国・朝鮮／中東・アジア近代 保存技法	40323 } 40346 学校の温熱環境／労働環境・屋外環境／温熱環境の計測・評価技術／温熱感覚・反応	40420 } 40440 開口部・ファサードのデザイン／改修によるゼロエネルギー建築	40523 } 40544 開口部／住宅のエネルギー消費
		21526 } 21543 構造実験／コンクリート杭／免震装置	9119 } 9141 19-20世紀転換期／20世紀前半・後半	9237 } 9261 意匠論 建築構成	9335 } 9357 建築論 都市・風景／制作・作品／現代	9435 } 9457 事例／資料／保存論	40347 } 40352 温熱感覚・反応	40441 } 40454 バイオフィリックデザイン	40545 } 40555 住宅のエネルギー消費／集合住宅の省エネ改修

< 17:00 > 閉会式 (百周年時計台記念館会議室Ⅲ)

会場：京都大学

吉田南総合館西棟			吉田南1号館						
環境工学 4	環境工学 5	環境工学 6	環境工学 7	環境工学 8	環境工学 9	環境工学 10	環境工学 11	環境工学 12	
共西 32室	共西 41室	共西 42室	1 共 01室	1 共 02室	1 共 03室	1 共 31室	1 共 32室	1 共 33室	
111	135	103	70	115	98	132	87	90	
9月13日(水) 都市環境・設備 都市気候実測/ヒートアイランド緩和策/暑熱環境適応策/屋外空間温熱生理心理、行動	熱環境 非住宅の温熱環境/機械学習・最適化/熱的快適性	環境設計 [OS] 高齢者・障害者・子どもなどを支える基礎研究と実践例/学校・高齢者施設の環境調整ほか	電磁環境 磁気環境・計測評価/電磁環境・放射線環境・計測評価	光環境 光環境計画・測定/光・視環境と健康/[OS] 災害と照明:レジリエント・ライティング	建築設備 熱源機器、熱搬送・熱源制御システム/熱源計画法・設計法、コジェネレーションほか	空気環境 [OS] 粒子と感染リスク/[OS] 換気と感染症対策/COVID-19とリスク評価/ウイルス	空気環境 風洞実験/ガス拡散LES/機械学習による建物周辺気流の予測/建物周辺・室内気流	空気環境 気流の制御・気密性/室内気流のCFD解析手法/工場・厨房・オフィスの換気・空調	
40971 40992	40556 40579	41090 41107	40246 40255	40204 40225	40862 40883	40621 40637	40638 40659	40707 40728	
40993 41017	40087 41016	41108 41132	40580 40596	40226 40245	40884 40908	40001 40023	40660 40683	40729 40749	
都市の風環境/ 都市気候シミュレーション	音環境 屋外騒音/[OS] 音環境数値シミュレーションの新展開2023/室内音響解析・予測	住宅の環境性能・LCCM/住宅の温熱環境・環境行動/暑熱地住宅/住宅LCA	熱環境 湿気の基礎理論/吸放湿・結露/壁体内の水分移動	昼光利用/眺望性/窓の心理的影響/明るさ評価	データセンター・工場・大空間・住宅・事務所・設備/住宅のエネルギー/建築設備とデマンドレスポンス	環境心理・生理VR空間評価/サイン・認知機能/屋外空間の評価/空間知覚・評価	アレルゲン/浄化と除染/実態調査/化学物質/数値解析とその検証	オフィスの自然換気/自然換気設計手法/自然換気・通風の数値解析手法/住宅の自然換気・通風	
9月14日(木) 都市の緑・水辺/環境配慮型都市。空間データ利用技術/建築・都市のエネルギー・水消費/EMS	室内音響設計・測定/室内音場の主観評価/音環境調査・評価	オフィス環境/地域のカーボンニュートラル/ZWB:環境性能/庁舎・大学のエネルギー	空間内の湿度/文化財と湿気/塩類と水分移動/生物と湿気	建築設備 [OS] ヒューマンファクターデザインと評価/[OS] 環境・エネルギー性能予測	環境配慮技術/非住宅の性能評価/ゼロエネルギー建築	音環境・複合環境/店舗・消費空間の評価/住環境・快適性/健康・福祉・住意識	におい評価/換気・空調、空気清浄/室内空気環境モニタリング/感染リスク低減	感染制御・エアロゾル/住宅の換気・空調/エアカーテン	
41018 41043	40107 40130	41133 41155	40597 40620	40802 40813	40909 40934	40024 40047	40684 40706	40750 40770	
9月15日(金) 地域エネルギーシステム・スマートエネルギーネットワーク/スマートシティ・コミュニティ	遮音・吸音・材料	SDGs/建築物/環境改修		全館空調システム/放射冷暖房システム/空調機器・CFD・深層学習	ゼロエネルギー建築/熱源機器容量・躯体蓄熱/シミュレーションツール	木質材料・バイオフィリックデザイン/[OS] 『自然』と環境心理生理研究	環境振動 地盤振動/床振動/建物振動/対策・加振力/振動予測・解析	水環境 水環境・ゼロウォーター/災害・排水処理/給水・給湯システム/衛生器具	
41044 41066	40131 40149	41156 41176		40814 40836	40935 40954	40048 40063	40175 40198	40771 40791	
未利用・再生可能エネルギー活用/都市防災・減災/B C P・D C P/Z E B、建物・都市の低炭素化	床衝撃音	CO ₂ 評価/建材・緑		40837 40861	40955 40970	40064 40086	40199 40203	40792 40801	
				空気搬送システム・調湿設備/個別空調システム・換気設備/空調制御システムほか/温熱環境・実測評価	ヒューマンファクター・行動分析とAI/設備保全・パンデミック	生体情報計測・脳機能/ワークプレイス	振動評価・測定法	排水システム	
< 17:00 > 閉会式 (百周年時計台記念館会議室Ⅲ)									

会場：京都大学

吉田南4号館									
	都市計画1	都市計画2	都市計画3	都市計画4	都市計画5	都市計画6	材料施工1	材料施工2	材料施工3
	4共10室	4共11室	4共12室	4共13室	4共14室	4共20室	4共24室	4共30室	4共31室
	80	258	80	80	80	80	80	376	225
9月13日(水)	7001 } 7023 空き建物・空き地の活用/歩行を基礎としたまちづくり/再開発/市街地整備	7117 } 7124 【OS】都市と産業	7182 } 7206 滞留空間/パブリックスペースの認知と利活用/市街地整備とパブリックスペース	7308 } 7331 歴史的遺産と生業/歴史的景観/歴史的景観・アジア	7427 } 7450 避難行動/避難所と避難計画/水害と住まい/水害リスクと対応	7533 } 7549 【OS】観光地のリノベーション/緑地都市環境/トルコ地震	1001 } 1024 セメント/骨材/混和材料	1117 } 1140 フレッシュ時の物性/セメント硬化体の組織構造/強度・力学的性質、収縮・クリープ	1234 } 1257 工事の管理・試験法/寒中コンクリート/暑中コンクリート/流動化コンクリート
							1025 } 1047 混和材料/特殊素材/微細構造/物質浸透/ジオポリマー・仕上げ/養生	1141 } 1163 収縮・クリープ、アルカリシリカ反応/打込み・打継ぎ	1258 } 1282 高流動コンクリート/高強度コンクリート/繊維補強コンクリート、ポリマーセメントコンクリート
9月14日(木)	7024 } 7048 海外都市計画/参加と公共空間/参加とまちづくり/参加と手法	7125 } 7134 【OS】駅を中心とした拠点再編/【OS】ストック活用によるまちなか再生/【OS】まちなか再生のための緑の景観	7207 } 7231 ストリート文化/空間要素と構成/パブリックスペースの環境/空き家	7332 } 7355 自然・緑地/都市農地・緑地/景観分析/景観イメージ	7451 } 7473 被災後の生活/災害リスクと生活環境/復興と事前復興/防災復興とまちづくり	7550 } 7573 エイジフレンドリー・福祉/居住実態・意識/郊外住宅地・ニュータウン/交流拠点	1048 } 1068 高炉スラグ・フライアッシュ	1164 } 1186 打込み・打継ぎ/型枠工事/鉄筋工事/凍害・硫酸劣化/モルタル・仕上げ	1283 } 1304 再生骨材・再生コンクリート/ロックウール・ガラス骨材
	7049 } 7068 参加とプロセス/参加と手法/担い手の育成	7135 } 7153 【OS】地方都市における都市計画/【OS】災害復興と市町村間移動/都市計画論ほか	7232 } 7257 空地等の利活用/空き家・空地の実態把握/歩行者ネットワーク/ウォークアップ/環境	7356 } 7379 パブリックスペース・歩行空間/景観資源/景観ガイドラインと環境デザイン/景観計画	7474 } 7491 町並みと防災/防災意識・防災教育/市民の防災力	7574 } 7594 オープンスペース・行動/空間分析・評価/公園/子育てとまちづくり			
9月15日(金)	7069 } 7092 駅を活かした市街地整備/空間分析と利用状況/商業地・商業空間	7154 } 7165 【OS】まちと大学キャンパス/【OS】都市の場形成	7258 } 7281 観光に関連する現象の計測と測定/観光地における歴史と変遷ほか	7380 } 7403 都市構造と施設配置/健康医療福祉/街路とミクロな環境評価	7492 } 7513 都市論/都市形成史/都市計画史	7595 } 7612 コミュニティ/住環境/多文化共生	1069 } 1092 維持保全計画・維持管理/試験方法・調査・診断	1187 } 1210 中性化/物性/鉄筋腐食・水環境/PCaコンクリート	1305 } 1327 環境配慮型コンクリート
	7093 } 7116 まちなかの回遊・滞留空間/都市拠点/地域資源と市街地整備/協働まちづくり	7166 } 7181 【OS】都市空間の評価/【OS】大学と地域/キャンパス・ commons	7282 } 7307 区域区分制度とマスタープラン/公共施設・公園空地/公園のマネジメント/都市計画制度ほか	7404 } 7426 路上・歩行空間/ハンディキャップ/空間解析/モデル/健康福祉の環境	7514 } 7532 土地利用/交通		1093 } 1116 試験方法・調査・診断/鉄筋コンクリート造躯体の補修・改修	1211 } 1233 PCaコンクリートほか/漆喰部材・屋根材の補修・改修/仕上材・木部材・防水材の補修・改修	1328 } 1352 ポーラスコンクリート/PCaコンクリート/メーソソリナー・成形セメント板/ALC
< 17:00 > 閉会式 (百周年時計台記念館会議室Ⅲ)									

会場：京都大学

吉田南4号館							百周年時計台 記念館	総合研究8号館	総合博物館
材料施工4	材料施工5	材料施工6	海洋建築/ 材料施工7	防火1	教育/防火2	表彰式	設計競技	建築作品展	
4共32室	4共33室	4共40室	4共41室	4共21室	4共22室	国際交流ホールI	NSホール		
80	80	80	80	258	80	100	252		
9月13日 (水)	1353 } 1376 木材・木質材料 /石材・左官	1471 } 1494 塗膜防水/シート 防水/メンブレン 防水副資材/ 勾配屋根	1572 } 1593 鋼材・金属材料 /高力ボルト・ ボルト/非破壊 検査/塗装			13001 } 13018 教育 若手セッション /先端的教育ツ ール・設計教育		9:15～14:15 設計競技 公開審査	
	1377 } 1399 タイル/塗装・ プラスチック	1495 } 1517 防水アーカイブ スほか/シーリ ング材	1594 } 1615 建設ロボット/ 合理化工法・現 場管理	10001 } 10024 海洋建築 再生可能エネル ギー/浮体構造 /応答/流体場 /港湾・地域		13019 } 13031 構造安全・防災 教育/住教育・ 家庭科・市民教 育	13:30～15:00 表彰式 (奨励賞・ 優秀論文)	15:30～16:15 表彰式	
9月14日 (木)	1400 } 1422 軽量鉄骨下地乾 式間仕切壁/内 壁/屋根・内外 装	1518 } 1541 溶接	1616 } 1626 コンクリート工 事/解体工事	1670 } 1690 材料施工 耐久設計/エコ マテリアル	3001 } 3020 煙流動性状/火 災性状/材料等 の試験法	3080 } 3097 防火 鋼材料の高温時 機械特性/耐火被 覆材料の高温時特 性/鋼・合成構造 の火災時応答解析		9:30～16:30 (最終入館 16:00)	
				10025 } 10047 海洋建築 計画・設計・デ ザイン/避難・ 災害/安全・防 災/沿岸空間	3021 } 3037 各種物品の燃焼 性/内外装材の 燃焼性/[OS] 可燃性材料の着 火・燃え拡がり 性状	3098 } 3110 コンクリート系材 料の高温時・火災 後の特性/[OS] メンブレン作用 を考慮したコン クリート系スラ ブの耐火性能			
9月15日 (金)	1423 } 1445 外壁/汚れ/断 熱材/ガラス	1542 } 1560 溶接	1627 } 1648 BIM・VR・3次 元計測/ドロー ン/土工事	1691 } 1711 材料施工 環境配慮・低炭 素/ジオポリマー	3038 } 3061 車いすの避難行 動特性/群集流 動・群集制御/ 避難安全評価/ 防災設備	3111 } 3125 木質系材料で被 覆した鋼・コン クリート系部材 の耐火性能は か/[OS]木質系 構造部材・接合 部等の火災時耐 力推定技術			
	1446 } 1470 開口部ほか/コ ンクリート床下 地/床の性能評 価	1561 } 1571 溶接/ロボット 溶接・自動溶接	1649 } 1669 AI・DX/3Dプ リンタ	1712 } 1730 資源循環/LCA	3062 } 3079 火災事例・火災 安全性評価/火 災安全設計/市 街地・大規模火 災	3126 } 3148 木質系耐火構造 /木質部材の炭化 ・自己消火性/木 質部材の内部温 度解析/木質部 材等の準耐火性 能			
<p>< 17:00 > 閉会式 (百周年時計台記念館会議室Ⅲ)</p>									

2023年学会賞（作品・技術・業績）、教育賞（教育貢献）、作品選奨

受賞作品展

9月13日（水）～15日（金）9:30～16:30（最終入館16:00）、京都大学（総合博物館）にて

	受賞業績	受賞者
●学会賞（作品）	郭巨山会所	魚谷繁礼 / 魚谷みわ子 / 柳室純
	山形市南部児童遊戯施設 シェルターインクルーシブプレイス コバル	大西麻貴 / 百田有希 / 平岩良之
	春日台センターセンター	金野千恵
●学会賞（技術）	後付けによる鉄筋定着工法の開発と展開	杉山智昭 / 小野英雄 / 渡辺英義 / 阪井由尚
	浸水試験システムで実証した水災から暮らしと財産を守る耐水害住宅	和木洋 / 高橋武宏 / 品川恭一 / 及川孝則
●学会賞（業績）	竹によるものづくりを通じた社会活動および竹構造建築物の開発	滋賀県立大学 陶器浩一研究室
	分離派建築会の活動を多面的に解明した調査・研究・展覧会	分離派100年研究会 / パナソニック汐留美術館 / 京都国立近代美術館
	武蔵野クリーンセンター・むさしのエコreゾート整備事業	水谷俊博 / 木村浩 / 武蔵野市 / 武蔵野クリーンセンター運営協議会 / 水谷俊博建築設計事務所 / 荏原環境プラント株式会社 / 鹿島建設株式会社
●教育賞（教育貢献）	木造住宅の耐震改修促進に向けた建築士・大工のための技術講習会「耐震リフォーム達人塾」	井戸田秀樹 / 花井勉 / 川端寛文
	冷暖房・給湯における環境配慮型ライフスタイル普及のための教育プログラムの開発	高橋達
	建築模型の制作を通じたデザインの実践・探究・蓄積	松本文夫
	建築ツアー等の実践的なプログラムを通じた、市民に向けた建築文化の普及活動	和田菜穂子 / 磯達雄 / 倉方俊輔 / 若原一貴 / 岸佑
●作品選奨	共愛学園前橋国際大学5号館 KYOAI GLOBAL GATEWAY	赤松佳珠子 / 大村真也 / 小西泰孝
	新宿住友ビルリ・イノベーションプロジェクト	芦田智之 / 恩田聡 / 村上博昭 / 宇田川貴章 / 上甲孝 / 管貴彦 / 島村高平
	那須塩原市図書館 みるる	伊藤麻理 / 金箱温春
	佳水園 ウェスティン都ホテル京都	稲葉一秀 / 中村拓志
	飯能商工会議所	野沢正光 / 稲山正弘
	高床の家	福島加津也 / 中谷礼仁 / 山田憲明 / 中川純
	阿久根市民交流センター「風テラスあくね」	古谷誠章 / 杉下浩平 / 狩野広行
	同志社香里中学校・高等学校メディアセンター「繋真館」	八木佐千子 / 上垣内伸一 / 満田衛資
	MUNI KYOTO	安田幸一 / 金箱温春 / 柿沼整三
	新宮市文化複合施設「丹鶴ホール」	安田俊也 / 篠崎亮平 / 笹岡歩 / 内村梓

2023年日本建築学会賞（論文）、作品選集新人賞

受賞者記念講演

●学会賞（論文）

分野	講演題目	講演者	期日	時間	開催形式	会場	司会
材料施工	コンクリートの性能を合理的に制御するための調合設計法に関する一連の研究	寺西浩司	9月14日(木)	13:30～13:45	対面	研究集会16 法経済学部本館 第4教室 (材料施工研協)	野口貴文 (材料施工委員会委員長)
構造	低層建築物およびその外装材の風荷重並びに耐風性能評価に関する一連の研究	植松康	9月12日(火)	9:00～9:15	オンライン	研究集会2 第B室 (構造 [荷重] PD)	五十田博 (構造委員会委員長)
	軸方向圧縮力と曲げモーメントを受ける鋼柱の構造性能評価に関する研究	佐藤篤司				研究集会4 第D室 (構造 [鋼構造] PD)	山田哲 (構造委員会幹事)
	無補強の組積造充填壁を有するRC建物の耐震性能評価法に関する研究	真田靖士				研究集会5 第E室 (構造 [RC構造] PD)	楠浩一 (構造委員会幹事)
環境工学	遺跡や歴史的建物等における文化財の保存のための環境制御に関する一連の研究	小椋大輔	9月14日(木)	13:30～13:45	対面	研究集会17 法経済学部本館 第7教室 (環境工学研協)	大岡龍三 (環境工学委員会委員長)
	建築部材の音響性能の解析・測定及び向上に関する一連の研究	佐久間哲哉		13:45～14:00			
	建築・設備における未利用及び自然エネルギー活用に関する一連の研究	垂水弘夫		14:00～14:15			
建築計画	自然災害後のすまいのマネジメントに関する一連の建築計画研究	牧紀男	9月15日(金)	9:00～9:15	対面	研究集会16 法経済学部本館 第4教室 (建築計画研協)	清家剛 (建築計画委員会委員長)

●作品選集新人賞

講演題目	講演者	期日	時間	会場	司会
同志社幼稚園	岡隆裕	9月14日(木)	14:30～14:36	工学部物理系校舎 物理系313室	杉浦久子 (大会建築デザイン発表 会運営委員会委員長)
清水建設北陸支店新社屋	岡崎真也		14:36～14:42		
京都女子大学 E 校舎	尾口晴基		14:42～14:48		
流山市立おおぐろの森小学校	草野崇文		14:48～14:54		
全業工業株式会社 研究開発センター	頭井秀和		14:54～15:00		
歴史と未来の交流館	鈴木彬史		15:00～15:06		
Entrance Pavilion in Palingbeek	服部大祐		15:06～15:12		
Re-plot of townscape	藤井和弥		15:12～15:18		
武庫川女子大学公江記念館	堀良平		15:18～15:24		
上原成商事株式会社本社	南野剛也		15:24～15:30		
O project	宮城島崇人		15:30～15:36		
日環アリーナ栃木 (栃木県総合運動公園東エリア)	森一広 飯田雄介		15:36～15:42		
KANDA SQUARE	森隆 小松拓郎		15:42～15:48		
Noborito Gate Building	山田修爾		15:48～15:54		
守口市立さくら小学校	山本和宏		15:54～16:00		

研究集会 研究協議会・研究懇談会・パネルディスカッション

※ 研協：研究協議会、研懇：研究懇談会、PD：パネルディスカッション

※ 総合研究協議会はハイブリッド（対面+オンライン）、研究協議会は対面、研究懇談会・パネルディスカッションはオンラインで開催します。

※ 各研究集会の詳細は本会 Web ページをご覧ください。

部門・委員会	種別	主題	頒布資料	日時	室名
	総合研究協議会	建築の新常識 —関東大震災100周年	あり	9月13日(水) 10:00～13:30	百周年時計台記念館 百周年記念ホール+ オンライン
	総合研究協議会	持続可能な建築・まちづくりのための建築学会SDGsアクション	あり	9月14日(木) 10:00～13:00	百周年時計台記念館 百周年記念ホール+ オンライン
	総合研究協議会	建築分野の脱炭素化を実現するための課題と展望	あり	9月15日(金) 10:00～13:00	百周年時計台記念館 百周年記念ホール+ オンライン
材料施工	研協	鉄筋コンクリート造建築物の限界状態再考 —次世代の耐久設計	あり	9月14日(木) 13:45～17:00	法経済学部本館 第4教室
	PD	JASS 10(プレキャスト鉄筋コンクリート工事)改定にむけて	あり	9月12日(火) 13:30～17:00	オンライン 第A室
構造	研協	関東大震災から100年 —過去を振り返り、先達に聞き、学び、そして将来を展望する	あり	9月14日(木) 9:00～12:30	法経済学部本館 第4教室
	PD(応用力学)	偶発作用のハザード評価とリスクマネジメント	あり	9月12日(火) 9:00～12:30	オンライン 第A室
	PD(荷重)	荷重指針2025改定に向けて —雪荷重の評価方法と屋根上積雪荷重の設定方法	あり	9月12日(火) 9:15～12:30	オンライン 第B室
	PD(基礎構造)	合理的な小規模建築物基礎の設計とは —小規模建築物基礎設計指針の改定に向けて	あり	9月12日(火) 13:30～17:00	オンライン 第B室
	PD(木質構造)	木質構造における制振技術の方向性	あり	9月12日(火) 9:00～12:30	オンライン 第C室
	PD(鋼構造)	変形性能を陽に反映した耐震設計法の進化 —鋼構造塑性設計指針の改定に向けて	あり	9月12日(火) 9:15～12:30	オンライン 第D室
	PD(RC構造)	現場打ち同等型プレキャストはほんとうに現場打ちと同等なのか?	あり	9月12日(火) 9:15～12:30	オンライン 第E室
	PD(PC構造)	PC構造が拓く建築デザインの可能性と将来展望	あり	9月12日(火) 9:00～12:30	オンライン 第F室
	PD(シェル・空間構造)	新しい離散的な曲面の幾何学と空間構造 —数学・諸分野と共に拓く	あり	9月12日(火) 13:30～17:00	オンライン 第C室
	PD(振動)	過去の地震からの学び(研究)を活かすために —観測や被害原因の分析と設計への展開	あり	9月12日(火) 13:30～17:00	オンライン 第D室
	PD(原子力建築)	原子力施設における建築物の耐震性能評価手法の現状と今後の展開	あり	9月12日(火) 13:30～17:00	オンライン 第E室
防火	研協	避難安全のバリアフリーデザイン	あり	9月13日(水) 13:30～17:00	総合研究3号館 共通155室
	PD	木質部材の耐火性能評価技術の今を知る	あり	9月12日(火) 13:30～17:00	オンライン 第J室
環境工学	研協	コロナ危機がもたらす建築環境工学の新たな展開	あり	9月14日(木) 14:15～17:00	法経済学部本館 第7教室
建築計画	研協	コロナが迫った建築計画の変革	あり	9月15日(金) 9:15～12:30	法経済学部本館 第4教室
	PD(1)	文化財になった住宅団地の保存と活用 —UR旧赤羽台団地の経験を通して「現地」で考える	あり	9月12日(火) 9:00～12:30	オンライン 第H室
	PD(2)	建築計画学の国際化に向けた戦略2 —実践編	あり	9月12日(火) 13:30～17:00	オンライン 第H室
農村計画	研協	減災思考と実践 —豪雨被災を乗り越える集住のレジリエンス	あり	9月14日(木) 9:00～12:30	法経済学部本館 第7教室
	研懇	海際から描く、くらしの教養 —生活・生業・技術・文化	あり	9月12日(火) 13:30～17:00	オンライン 第F室
都市計画	研協	いま、都市に関するプランの役割と機能を考える	あり	9月13日(水) 13:30～17:00	法経済学部本館 第4教室
	研懇	グローバル時代の景観デザイン	あり	9月12日(火) 13:30～17:00	オンライン 第G室
	PD	次の災害対策・復興を実現するには —新・復興とは	あり	9月12日(火) 9:00～12:30	オンライン 第G室
建築社会システム	研協	マンションは負資産か?! —建築が適正に持続可能となるための建築社会システムを考える	あり	9月15日(金) 13:30～17:00	法経済学部本館 第4教室
	PD(1)	持続可能性のためのガバナンスの実効性を上げるには	あり	9月12日(火) 9:00～12:30	オンライン 第K室

部門・委員会	種別	主題	頒布資料	日時	室名
	PD (2)	安心安全の建築企画 (続編)	あり	9月12日 (火) 13:30 ~ 17:00	オンライン 第K室
建築歴史・意匠	研協	建築論の問題群 (思索と制作) —増田友也の風景論とその現代性	あり	9月13日 (水) 9:00 ~ 12:30	法経済学部本館 第4教室
	PD (1)	歴史的建築データベースのこれまでとこれから	あり	9月12日 (火) 9:00 ~ 12:30	オンライン 第1室
	PD (2)	民家研究の新視点	あり	9月12日 (火) 13:30 ~ 17:00	オンライン 第1室
海洋建築	研協	関東地震津波の隠された教訓	あり	9月14日 (木) 9:00 ~ 12:30	総合研究3号館 共通155室
情報システム技術	研協	G空間社会の成立と防災における情報活用の未来	あり	9月13日 (水) 13:30 ~ 17:00	法経済学部本館 第7教室
建築教育	研懇	防災教育の進化・体系化をめざして —発達段階に応じた教育目標の明確化	あり	9月12日 (火) 9:00 ~ 12:30	オンライン 第J室
建築法制	研協	水害リスクを踏まえた建築・土地利用規制のあり方	あり	9月15日 (金) 9:00 ~ 12:30	法経済学部本館 第7教室
地球環境	研協	人新時代における気候変動への建築・都市・地域の応答	あり	9月13日 (水) 9:00 ~ 12:30	法経済学部本館 第7教室
	PD (1)	「聴竹居」から学ぶ日本の季節を味わう住みこなし術	あり	9月12日 (火) 9:00 ~ 12:30	オンライン 第L室
	PD (2)	アジアのカーボンニュートラル実現と建築の役割	あり	9月12日 (火) 9:00 ~ 12:30	オンライン 第N室
災害	研協	関東大震災の記録を振り返る/トルコ・シリア地震緊急調査報告	あり	9月13日 (水) 9:00 ~ 12:30	総合研究3号館 共通155室
原発長期災害対応特別研究委員会	研協	原発事故による長期的放射能影響への対策のための建築学会提言案	あり	9月14日 (木) 13:30 ~ 17:00	総合研究3号館 共通155室
宇宙居住特別研究委員会	PD	宇宙居住に向けた研究開発の現状と課題	なし	9月12日 (火) 13:30 ~ 17:00	オンライン 第L室
多元性に着目した復興再考 [若手奨励]特別研究委員会	PD	若手研究者による「復興」再考 —多元性の理解に向けて	あり	9月12日 (火) 13:30 ~ 17:00	オンライン 第M室
男女共同参画推進委員会	PD	「パリティ」で考える、これからのワークライフバランス	なし	9月12日 (火) 9:00 ~ 12:30	オンライン 第M室